医療法人腎愛会

2019（令和１）年度年報

2020（令和 2）年 11 月

上山病院

うえやま腎クリニック

高齢者福祉複合施設「光陽」

上山病院

〒890-0073
鹿児島県鹿児島市宇宿 3 丁目 17-6
TEL 099-257-2277
FAX 099-252-0722

うえやま腎クリニック

〒890-0073
鹿児島県鹿児島市宇宿 4 丁目 39-20
TEL 099-275-3211
FAX 099-275-3212

高齢者福祉複合施設「光陽」

〒890-0073
鹿児島市宇宿 3 丁目 22-10
TEL 099-257-5455
FAX 099-257-5445

法人本部

〒890-0073
鹿児島市宇宿 3 丁目 21-5
TEL 099-259-8811
FAX 099-259-8469

医療法人腎愛会　2019（令和元）年度版年報の発行にあたって

日頃より医療法人腎愛会の運営にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

1981（昭和56）年1月、この宇宿の地に「上山内科クリニック」を開設、昭和、平成、そして新たな時代の令和となり、おかげさまで開業40年目を迎えました。

ここまで来られましたのも、ひとえに患者の皆様及びご家族の皆様、職員の皆様、地域の皆様のお力添えのたまものと感謝いたしております。

2019（令和元）年度は、以前より計画しておりました電子カルテを12月に導入しました。導入までの準備期間は検討事項も多く、また当法人の要である透析治療を行うにあたりシステムの連携における課題が山積し、本当に稼働できるのかと心配しましたが、職員皆の努力の甲斐あって、無事稼働したところです。導入当初は操作に慣れず、診療時間や待ち時間が長くなるなど患者様にご迷惑をおかけすることもありましたが、現在はスムーズに運用できております。電子カルテになったことで、院内のみならず、上山病院と　うえやま腎クリニック間でのスムーズな連携が可能となり、医療の質と安全性の向上に繋がったものと考えています。

透析医療においては、2018（平成30）年12月末現在の透析患者数は全国で339,841人（5,336人増）、鹿児島県は5,535人となっています。透析導入患者さんの平均年齢は68.75歳で前年とあまり変わりませんでした。鹿児島県の導入患者さんの原因疾患は、全国の比率とほぼ同じとなっており、糖尿病性腎症42.3%、慢性糸球体腎炎15.6%、腎硬化症15.6%でした。人口10万人あたりでの新規透析導入患者さんは全国26.8人に対し、鹿児島は34.3人と高く、問題になるところです。これをいかに減らすか、これからの重要な課題です。

年が明けた2020（令和2）年には、全く予想もしていなかった新型コロナウイルス感染症への対応、2020年4月の診療報酬マイナス改定の影響も受け、大変な年となりそうです。その様な中でも、職員一人ひとりがそれぞれ懸命に取り組んでくれていますので、大変心強く、日々感謝して診療にあたっております。

開業以来、「常に最良の医療を求めて最善を尽くすこと」のみを考えて医業に邁進してまいりました。この40年の間様々なことがありましたが、それぞれの時代の職員と共に苦難を乗り越えてきました。先の見えないコロナ禍ですが、with コロナ、after コロナとなった時には、それ以前と同じ状態に戻ることなく、新たな時代となることでしょう。その新たな時代が、より素晴らしい環境となるために皆様の「地域のかかりつけ医」として、「健康で、美しく、いつまでも自分らしくありたい」という真のQOL（Quality of life）実現のため、腎愛会に集う素晴らしい職員と共に地域の皆様のサポートに努めて参ります。

今後とも一層のご支援・ご厚誼を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2020（令和2）年11月

医療法人腎愛会　理事長 **上山達典**

ごあいさつ

皆様からのご指導、ご協力のお陰でこの1年を無事に務めることができました。心より感謝し御礼申し上げます。

腎愛会は今年も1年間様々な事に取り組んでまいりましたが、最も大きな取り組みは電子カルテの導入を行ったことです。以前から予定していましたが、当院は透析治療を中心にしているため電子カルテへの移行にあたり様々なことを検討する必要があり、職員皆が協力しようやく 2019 年 12 月より無事に電子カルテを稼働することができました。

そして、電子カルテの導入、稼働で四苦八苦している頃、中国武漢で新型コロナウィルス感染症が発生しました。2020 年 2 月に世界保健機関 WHO は新型コロナウィルス感染症の疾患名を COVID-19 とし、原因ウィルス名を SARS-CoV-2 と発表しています。この COVID-19 は瞬く間に世界中へ拡大し、日本では 2020 年 1 月 17 日に武漢から帰国した 30 代男性が初発例とされました。その後、国内での感染者が増加傾向であったため 2020 年 4 月 7 日、新型コロナウィルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言が七都府県に発令されました。4 月 16 日には全都道府県に拡大され、患者数が減少したため 5 月 25 日に全面解除となっています。当院でも入院患者さんへの面会制限を開始、透析患者さんと一般外来患者さんの入り口を分け、発熱している患者さんの診察を院外で行い、スタッフの標準予防策や手指消毒をこれまで以上に徹底しました。また、医療・感染対策に必要な物品の入荷が滞るようになり、スタッフのお手製布マスクを使用し日常の診療を行いました。ようやく感染も収束に向かいつつあるかと思われた 7 月 3 日、鹿児島でもとうとう COVID-19 クラスターが発生しました。そして私の予想より早く、鹿児島で初の透析患者さんの感染が当院で確認され、感染症指定医療機関へ入院するまでの間に 2 回、当院で透析を行わねばなりませんでした。感染された患者さんの病状が気になる中、院内での感染拡大を防止せねばならず一分一秒も無駄にできないと、PCR 検査陽性の連絡を受けたその日のうちに透析室の清掃、当院で治療を行うための段取り、接触者リストの作成やスタッフ、患者さんへの周知など多くのことを検討し決定しました。診療部や事務長、経営管理部長、看護部長をはじめ、各所属長と協力・話し合いを行い、保健所の担当の方や医師会病院の大迫先生や県透析医会会長の萩原先生などと連携し、粛々と対応していくことができました。その後、新たに 2 人の COVID-19 感染が確認されましたが、幸いそれ以上の患者さんの感染は認めず、当院スタッフへの感染も確認されませんでした。当院の透析患者さん 3 名の COVID-19 陽性をうけ、保健所、大学病院の感染対策の医師による院内立ち入り調査もありましたが、当院の感染対策は十分にできており、院内感染の可能性は限りなく低いと判断されました。これは、日頃から感染委員会を中心に感染対策に取り組んでいる全ての職員のお陰と心から感謝するとともにとても頼もしく、当院の日頃の取り組みに間違いはないと自信にもなりました。

また世の中が COVID-19 一色になっている 4 月には、2 年毎にある診療報酬改定もありました。今回の改定は透析治療を中心としている当院には大変厳しいマイナス改定になっており、COVID-19 による影響や感染対策にかかる費用などを考えると、このマイナスを十分に補うことは非常に難しいと考えています。

このように世の中が大きく変化し、腎愛会も大きな岐路に立っていますが、何とか乗り越えていけるように皆で知恵を絞り、時代と共に変化、成長していける腎愛会を目指し、職員一同、地域の皆様のお役に立てるよう腎愛会の目標に向かって引き続き取り組んでいきたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

『日本で最高の病院にしていこう！』

①来られる患者さん、そのご家族が「素晴らしい治療をしてもらえて、本当によかった」と心から言っていただける病院

②スタッフが「私は素晴らしい病院で働いている」と実感できる病院

③他の病院や医師から「あの病院は最高の医療を提供している」と認めてもらえる病院

上山病院　院長　寺口記代

ごあいさつ

2019 年はクリニック院長として、透析加療を中心に形成外科、ビューティー・コア・サポートに取り組んできました。

透析加療では、『業務改善を行い、より充実した医療をご提供しよう』ということを目標に、①透析時間の最適化②フットケアの充実、この 2 つの事を重点的に皆一丸となって取り組みました。採血結果は勿論ですが、年齢、生活背景、透析加療経過を鑑みながら、透析時間を再検討し、徐々に説明し変更していきました。やはり簡単ではなく、実際に実行に移すには高いハードルがありました。一番は患者さん自身が「今の状態を変えたくない」という意志、次に職員の共に取り組む課題に対する不安でした。

毎月の採血データを分析し、時間設定に対する根拠を数値、グラフと視覚的に判断できるようにし、全体を見ながら穿刺から送迎に至るまでの時間配分を検討し、ベッド移動、穿刺順番から再編成していきました。

またフットケアでは、糖尿病重症化予防フットケア研修会を修了した看護師さんを中心に、全員が協力しあう事で、透析している時間は同じですが、それぞれの課を超えて協力していくことでより充実した医療サービスを提供することが出来るようになりました。

また形成外科・ビューティー・コア・サポートでは、鹿児島の究め人達と共に、月 1 回セミナーを開催しました。その取り組みの中で、鹿児島県は“美と健康を生み出す資源の宝庫”であると認識しました。社会生活を美しく支えるクリニックとして、新たな要素であり、まだまだ認知度が浸透していかない歯がゆさはありますが、これからの必要な事業であることを確信しておりますので、スタッフと共により頑張っていきたいと思います。

腎愛会グループは、家庭生活を大事にしながら、キャリアアップを目指せる鹿児島の医療・企業として、職員に大事に思って頂けるよう、また患者さん、顧客により良い医療サービスを提供していけるよう、更なる発展を期待して次年度に繋げていきたいと思います。

うえやま腎クリニック　院長　上山菜穂

《　目次　》

ごあいさつ

１　理念・基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２　患者様の権利について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
３　概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
４　沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
５　各部門の紹介・実績報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
６　研究実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　37
７　院内研修開催実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　39
８　１年間の主な出来事　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　43
９　医療機器　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　44
10　病院組織図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　45
11　委員会活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　46
12　統計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　47
(1)患者データ【上山病院】
(2)患者データ【うえやま腎クリニック】
(3)腎愛会 2019 年度アンケート集計表
(4)送迎データ
(5)職員データ

1　理念・基本方針

■理念

私たちは、豊かな人間愛を持って、常に最良の医療を求めて最善を尽くします。

■基本方針

1）質の高い医療を追及するために、たゆみなく研鑽します。
2）医療人としての誇りを自覚し、公共のために行動します。
3）温かい医療を提供するとともに、地域のために貢献します。

（平成 24 年 1 月 1 日改定）

■行動規範

四維（礼・義・廉・恥）

礼　　礼を重んじ、感謝の気持ちを持ちます。
義　　正しい道を求め、公共のために行動します。
廉　　心を清らかに保ち、素直に接します。
恥　　恥じることを知り、同じ過ちを繰り返さないよう創意します。

2　患者様の権利について

■患者の皆様の権利と責務

Ⅰ　患者の皆様には次のような権利があります。

１　等しく安全で良質な医療を受ける権利があります。

２　治療方針・治療効果・危険性などについて知ることができます。

３　治療方針について、別の医師の意見を希望することができます。

４　診療内容などの個人情報は保護されます。

５　医療費の詳細について、説明を受けることができます。

Ⅱ　患者の皆様には次のような責務があります。

１　最善の医療を受けるために、病状経過・過去の治療歴などについて情報提供をしていただく責任があります。

２　病を克服するために、医療関係者と協働して治療に取り組む必要があります。

３　円満な医療を受けるために、病院や社会生活上のルールやマナーを守る必要があります。

４　診療上必要な医療費を負担する必要があります。

■説明と同意

医学・医療は科学技術の発展に伴って急速に進歩し、診断・治療の中身が専門的になり、理解が難しくなっています。また、高齢者が多くなり、慢性疾患が増加し、疾病構造も大きく変わっています。

そこで、患者さんやご家族におかれましては、十分な説明を受け、よく理解してから、自分の人生観に従って、主体的に生きていこうとお考えになろうかと拝察いたします。

私ども医療従事者は、このような患者さんのよりよい支援者として努めてまいりますので、ご不審な点がございましたらご遠慮なくお尋ねください。

そして、十分に理解し同意して、診療にご協力をお願いいたします。

3　概　要

【上山病院】

１）名　称：医療法人　腎愛会　上山病院

２）所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿三丁目 17-6

３）開設者：上山達典

４）開設年月日：平成 21 年 7 月 1 日

５）管理者：寺口記代

６）診療科目：内科、腎臓内科、人工透析内科、循環器内科、血管外科

７）延床面積：3450.48 ㎡

８）病床数：40 床（療養病床 40 床）

９）施設基準等

①基本診療

療養病棟入院基本料 1、在宅復帰機能強化加算、療養病棟療養環境加算 1、
入院時食事療養（Ⅰ）／生活療養（Ⅰ）、入退院支援加算 2

②特掲診療

薬剤管理指導料、ニコチン依存症管理料、医療機器安全管理料 1、
透析液水質確保加算 2、慢性維持透析濾過加算、感染防止対策加算 2、
患者サポート体制充実加算、CT 撮影及び MRI 撮影、糖尿病合併症管理料、
運動器リハビリテーション料Ⅲ、外来リハビリテーション診療料、
下肢抹消動脈疾患指導管理加算、人工腎臓、導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算、
在宅血液透析指導管理料

③医療機関の指定

保険医療機関指定
特定疾患治療研究事業委託医療機関
障害者自立支援法指定医療機関（更生医療）
生活保護法指定医療機関
労災保険指定医療機関
労災二次健診指定医療機関
結核指定医療機関
原爆被爆者一般疾病医療機関
原爆被爆者二世健康診断委託事業医療機関
特定健診医療機関
鹿児島市 CKD 予防ネットワーク腎臓診療医療機関
肝炎治療特別促進事業指定医療機関
日本透析医学会教育関連施設認定
鹿児島県女性にやさしい医療機関
65 歳以上インフルエンザ予防接種
65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種

【うえやま腎クリニック】

１）名　称：医療法人　腎愛会　うえやま腎クリニック

２）所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿四丁目 39-20

３）開設者：上山達典

４）開設年月日：平成 18 年 5 月 30 日

５）管理者：上山菜穂

６）診療科目：人工透析内科、形成外科

７）延床面積：1609.54 ㎡

８）施設基準等

①特掲診療

医療機器安全管理料 1、透析液水質確保加算 2、糖尿病合併症管理料、
下肢抹消動脈疾患指導管理加算、人工腎臓、導入期加算 1、慢性維持透析濾過加算

②医療機関の指定

保険医療機関指定
特定疾患治療研究事業委託医療機関
障害者自立支援法指定医療機関（更生医療）
生活保護法指定医療機関
労災保険指定医療機関
原爆被爆者一般疾病医療機関
65 歳以上インフルエンザ予防接種
65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種

【高齢者福祉複合施設 光陽】

１）名　称：医療法人　腎愛会　高齢者福祉複合施設 光陽

２）所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿三丁目 22-10

３）開設者：上山達典

４）開設年月日：平成 29 年 1 月 17 日

５）管理者：寺口記代

６）サービス内容：サービス付き高齢者向け住宅
訪問看護ステーション
ケアプランセンター
デイサービス

７）延床面積：1902.44 ㎡

８）施設概要

①サービス付き高齢者向け住宅

1 人部屋（18.85 ㎡）	3 部屋
1 人部屋（26 ㎡）	23 部屋
2 人部屋（33.15 ㎡）	2 部屋
2 人部屋（44.85 ㎡）	2 部屋

共同生活室・談話室

②デイサービス

デイサービスフロア

相談室

浴室

静養室（2 床）

4 沿 革

1981年 1月17日	上山内科クリニックを開設(職員数13名、許可病床数19床)
1985年 5月16日	有限会社ユーエスケイ企画設立(資本金300万円)
1985年 6月14日	職員寮(上山ハイツ)竣工
1987年 3月31日	上山内科クリニックを閉院
1987年 4月 1日	上山病院を開設(職員数45名、許可病床数48床)
1987年10月 1日	医療法人腎愛会設立(資本金8,600万円)
1990年 8月	Push/Pull-HDF(日機装社製)導入
1992年 4月 1日	じんあいクリニック開設(外来透析専門施設、無床)
1992年11月	Push/Pull-HDF(上山式)を開発し導入
1994年10月 3日	ユーエスケイ企画を有限会社から株式会社に改組(資本金1,000万円)
1995年12月25日	上山病院の増改築を実施し、2床減床(職員数73名、許可病床46床)
1997年 4月 1日	上山病院に泌尿器科を増科
1999年12月30日	療養病床施設基準に対応するために上山病院を改築
2003年 7月31日	ユーエスケイ企画本社ビル竣工
2003年 9月 1日	上山病院の病床を「その他一般病床」から「療養病床」へ転換
2004年10月19日	ユーエスケイ企画本社ビル(現本部ビル)、第8回鹿児島市建築文化賞受賞
2005年 9月30日	職員寮(上山ハイツ)売却
2006年 5月30日	うえやま腎クリニック開設(外来透析専門施設、無床)
2006年 7月 1日	ユーエスケイ企画宇宿事業所(現ユーエスケイ企画本社)開設
2008年 3月31日	じんあいクリニック閉院
2009年 7月 1日	新上山病院へ移転(職員数124名、許可病床数40床)
2009年10月 1日	上山病院　循環器内科を増科
2011年 1月17日	開院記念30周年
2012年 1月 6日	病院機能評価(Ver.6.0)認定 ((財)日本医療機能評価機構)
2012年 2月 7日	次世代育成支援対策推進法基準適合一般事業主認定(厚生労働大臣)
2013年 3月15日	上山病院　日本透析医学会教育関連施設認定
2013年11月 7日	上山病院　女性にやさしい医療機関指定
2014年10月 1日	オーダリングシステム導入
2015年 4月 4日	福利厚生施設 霧島山荘竣工(改築)
2015年12月25日	上山病院　血管外科を増科
2016年11月 1日	高齢者福祉複合施設「光陽」 ケアプランセンター 開設
2017年 1月11日	高齢者福祉複合施設「光陽」 デイサービス 開始
2017年 1月17日	高齢者福祉複合施設「光陽」 サービス付き高齢者向け住宅 入居開始
2017年 1月22日	高齢者福祉複合施設「光陽」 訪問看護ステーション 開設
2017年 6月13日	うえやま腎クリニックにビューティーコアサポート外来を開設
2018年 6月 1日	上山病院　在宅透析センター　設置
2018年 6月 1日	うえやま腎クリニック　形成外科を増科
2018年 6月 1日	上山病院　訪問リハビリテーション　開始
2019年12月 1日	電子カルテ導入

(1) 診療部

部門紹介

病院診療部は、常勤医師6名と非常勤医師7名の体制で診療にあたっております(2020年4月現在)。うち1名は心臓血管外科が専門です。当院では外来透析、外来診療（一般外来・生活習慣病外来・禁煙外来など）、入院診療（入院透析含む）を行っております。また、2020年1月より膠原病・リウマチ専門の医師を迎え、当院で取り組んでいるプライマリーケアを実践できる医療環境となり、地域の皆様からかかりつけとして選ばれる機会も増えております。また、腎移植医療は、鹿児島大学病院と連携し、サポート体制の確立を進めております。

一般外来（患者延べ数　月平均712名）は慢性腎疾患、高血圧、糖尿病、脂質異常症などを中心に、総合内科的機能を持ち、地域の皆様に広く受診して頂ける病院を目指しております。

2019年度および2020年度の取り組み

当院では、内科的管理と血管外科の医師による外科的管理が可能であり、透析シャント設置術や、バルーンカテーテルを用いた経皮的血管形成術（PTA）が行えることで、バスキュラーアクセス管理を自施設で完結できる環境が整っております。腹膜透析のカテーテル留置術と併せて、院内の手術件数も増加しており、2019年度透析シャント設置術は66件、PTAについては134件実施と件数を重ねております。また、患者様のQOL向上を後押しできるよう、2018年6月に新設した在宅透析センターを中心に、血液透析、腹膜透析、在宅血液透析と、療法選択の幅を広げ、患者様の望む治療ができるような体制を整えております。

2009年より取り組んでいる禁煙外来につきましては、これまでに49名の方が成功されました。今後も継続して取り組み、これまで以上に成功者を増やしていけるよう努力したいと思います。

患者様のより良い療養生活を維持するために、各種超音波診断装置やCAVI（動脈硬化指標の検査）など、非侵襲的な検査を積極的に行い、脳血管障害、心疾患、生活習慣病など、患者様の予後を悪化させる因子の早期発見に努めて参ります。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

病院を受診される患者様は何らかの苦痛、不安を抱えておられる方がほとんどです。私たちは、患者様がご自分の症状や不安を医師やスタッフに相談しやすい環境づくりに努めております。患者様の目線で、患者様と一緒に病気と向かい合う姿勢を心がけております。また、総合内科窓口として、適切な専門病院へ橋渡しすることも重要な仕事です。近隣医療機関との連携をこれからも密にしながら、患者さん本位の医療に取り組んでいきたいと考えております。

研究・自己啓発活動について

積極的に学会発表、論文作成を行い、それぞれの専門分野の学会、研究会にも可能な限り参加し、常に最新の知識を得るように心がけております。また、各種研究会の座長や、医薬品会社の社内講演会など地域の講演会に出席するなど、腎臓医療・透析医療に関する普及啓発にも力を入れております。（詳細は、「6研究実績」参照）

地域活動について

2020年度は新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない状況ですが、地域の方々に、腎愛会を知っていただくために、診療部が中心となり、イベント・交流会を計画したいと考えております。

(2) 地域連携室

部門紹介

地域連携室は社会福祉士 2 名体制で、上山病院・うえやま腎クリニックの外来通院患者様や入退院支援、外来透析患者様の在宅療養の支援をしています。週 1 回実施されている合同カンファレンスにて患者様の支援状況の報告や、効率的な支援についての検討を行っています。また、各部署の業務が円滑に行えるよう支援を行っています。

2019 度および 2020 年度の取り組み

2019 年度は「介護支援等連携指導」を 31 回実施致しました。また、当院は医療療養病床を有し、「在宅復帰機能強化加算」を届け出ていることから、2019 度は、退院後の患者様のモニタリングを 308 件実施しています。2016 年 1 月より、当法人にて訪問看護ステーションが開設され、下記表の通り、年々訪問看護に関する連携も多くなってきています。

当法人では、患者様満足度調査を 2011 年より実施しており、地域連携室にて上山病院の退院患者様、外来透析患者様、うえやま腎クリニック外来透析患者様に対してアンケート調査を行っています。

腎愛会での介護保険サービス事業開始に伴い、法人全体の地域連携室として、介護関連サービス部署ならびに、今日までお世話になっている他院様や介護関連他事業所様との連携を継続し、その関係性をさらに発展させるべく「地域包括ケアシステム」の考え方にも則した協働に取り組んで参ります。その他、私達の業務の取り扱い件数等を記載いたします。

地域連携室書類下書き件数

	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
介護保険主治医意見書	97	85	92	93	100	92	130	122
身体障害者意見書	34	23	28	27	33	32	39	37
リハビリ診療情報提供書	14	6	23	22	18	13	17	78
年金関係書類(意見書)	15	15	19	27	26	35	29	23
その他紹介状	22	10	19	7	2	1	0	0
訪問看護	20	17	56	71	99	99	149	170
計	202	156	237	247	278	272	364	430

	2014 度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
介護支援連携指導	8	15	16	14	24	31
患者様モニタリング	32	52	72	132	297	308
計	40	67	88	146	321	339

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

2020 年度も患者様や、ご家族の皆様とお話し、様々な不安の解消や、ご要望に応えられるよう業務に取り組みました。また、入院された日から退院に向けての取り組みを行うことで、在宅復帰への患者様ご家族の皆様の不安解消に努めました。

研究・自己啓発活動について

2019 年度は退院支援にむけた多職種連携についての研修に参加することが出来ました。2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、多職種連携会議や、研修等に参加できていない状況ですが、教材・オンライン等を使用した、個人での自己研鑽に励みたいと思います。また、以後の学会参加に向け、事例研究にも力を入れていきます。

地域活動について

2019 年度は上山病院周辺にお住いの方を対象とした、介護相談会「介護・福祉の茶のん会」を 11 月に開催いたしました。

(3) 薬剤科

部門紹介

2019 年度は薬剤師 3 名体制で、処方監査、疑義照会、調剤、調剤監査、持参薬鑑別、服薬指導、薬品管理、DI 業務、配置薬管理、麻薬・向精神薬管理、治験薬管理などの業務を行ないました。正確な調剤、わかり易い服薬指導、迅速な情報提供を基本として、患者さまから求められる薬剤師、職員の皆さまから頼りにされる薬剤師を目指して努力しました。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

安全性、効率性、コストダウンを基本として業務改善に取り組み、やりがいのある職場を目指しました。

安全性の観点からは、医師が指示した薬剤を患者に確実に服用させるために、病棟と連携し、与薬カートを導入しました。与薬カートの運用に当たっては、手順書を作成しスムーズで安全な運用に努めました。電子カルテが導入されたことで、処方薬チェック、患者情報収集の迅速化、業務記録の効率化につながり、薬剤投与の安全性向上につながりました。調剤時は処方監査を徹底し、疑義があった場合は医師に照会し、安全で適正な調剤に取り組みました。

効率性の観点からは、医師、看護師、医事課の業務量軽減のために、薬剤科に疑義照会専用の直通電話を設置し、保険薬局からの疑義照会を薬剤科で対応するようにしました。さらに、院外処方における疑義照会簡素化プロトコルを作成し、医師への照会件数を減らすように努めました。薬剤管理指導は、コンプライアンスが低下している患者を中心に、それぞれの患者に合った説明・指導を心がけ、患者のアドヒアランス向上に努めました。2019 年度の薬剤管理指導件数は 176 件でした。1 包化の必要な患者が多いことから全自動錠剤分包機を導入していただき、安全性、効率性が飛躍的に向上しました。

コストダウンの観点からは、後発医薬品への変更、在庫の定数見直し、仕入単位の小包装化をおこない、適正購入、適正在庫に努めました。3 月末現在の採用医薬品数は 640 品目（内服 359 品目、外用 84 品目、注射 196 品目）で、後発医薬品採用割合は 63.8%（215 品目/337 品目〔後発医薬品/後発医薬品のある先発医薬品〕）でした。

2019 年度の処方箋枚数は、外来 792 枚（前年度比 93.8%）、入院 3,726 枚（前年度比 111.8%）で、注射箋枚数は 3,514 枚（前年度比 93.5%）でした。院外処方箋発行率は 95.3%（15,885 枚/16,677 枚）でした。

2020 年度は 2019 年度で取り組んできたことをさらに充実させ、患者さまの薬物療法の向上に努力していきたいと考えています。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

どうすれば飲み忘れ、服薬間違いが起こらないかを念頭におき、患者の生活リズムと服薬状況を考慮にいれた薬剤管理指導に努力しました。次年度はさらに薬剤管理指導と病棟業務を充実させ、患者の満足度が上がるように努めたいと思います。

研究・自己啓発活動について

院内では医薬品説明会を 19 回実施しました。院外では、鹿児島県病院薬剤師会、鹿児島市薬剤師会、製薬会社が主催する講演会、講習会に積極的に参加し、業務に役に立つ情報、薬剤師に必要な情報の収集に努めました。また、日本医療薬学会、鹿児島県病院薬剤師会学術大会で発表するとともに、日本腎臓病薬物療法学会等に参加し、最新情報を収集するとともに医薬品の適正使用スキルを学び、知見を広めることに努力しました。

地域活動について

腎臓いきいき教室では、チームの一員として「腎機能が低下した時に使用する薬剤」と題して講話を行ないました。これからも分かり易い講話を心がけ、患者の意識向上に取り組んでいきたいと考えています。

（4）検査科　臨床検査チーム

部門紹介

臨床検査チームでは、現在 3 名の技師で検査を行なっています。業務内容は、生理検査では、頚部エコー、血管エコー、心エコー、腹部エコー、心電図、ABI 検査を主に行い、臨床検査では、生化学検査、末梢血液一般検査、尿検査、血液型などを院内にて行っています。検査数は年々増加傾向にあり、検査が重なって大変な時間帯もありますが、迅速に正しい検査結果が得られる様にマニュアルを遵守し、時間に追われながらも患者様と接するときは、穏やかにゆとりを持って接するように心がけています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

技師によって超音波検査のできる領域にばらつきがあるので複数領域検査できるように取り組んでいます。また診療の質の向上の為に透析患者様は亜鉛、銅、マグネシウム、一般外来患者様には先ほどの亜鉛、銅、マグネシウムに加え、シスタチン C も院内にて実施可能となり当日に結果説明が可能となりました。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

昨年度検査システムを新しくしました。前回値比較等の画面が見やすくなりました。前回値と差が大きい場合は一言添えるように追加項目も早く出せるように心がけています。
検査結果報告までの時間を 20～30 分とし、患者様の待っている時間短縮に努めています。全てのエコーの実施時間も 20～30 分で検査が終了できるようにしています。まだまだ改善しなければいけないところもありますが、1 分でも患者様の待つ時間を短縮し、且つ正確な検査結果が報告できるよう努力していきたいと思います。

研究・自己啓発活動について

検査技師会、超音波検査学会に入会し、検査技師会、超音波学会主催の学会や勉強会に進んで参加し、スキルアップに努めています。また検査結果に関しては、日本臨床検査技師会の外部精度管理に参加し、精度を保っています。

地域活動について

『腎臓いきいき教室』では腎臓病の検査という題目で患者様に判りやすく検査について説明しています。

(5) 検査科　放射線チーム

部門紹介

放射線チームは診療放射線技師 2 名体制で、上山病院外来・病棟、うえやま腎クリニック患者様の一般撮影（胸部・腹部等）、CT 検査、PTA の手術等の撮影、エコー検査等を行っています。上山病院には一般撮影装置・透視台・CT 装置・外科用 C アーム、CR 装置が導入されています。うえやま腎クリニックには一般撮影装置・透視台、CR 装置、画像保存用サーバ（PACS）が設置されています。2019 年 12 月より PACS が稼働、フィルムレス化されました。病院とクリニックの画像を 1 台の PACS で管理しどちらの画像も其々の施設から見る事ができるようになりました。

2 名と少数部署の為、検査の内容や検査日によっては患者様にお待ち頂く事もありますが、外来、臨床検査チーム、医事課などと連携をとり、患者様の待ち時間をできるだけ短縮できる体制と患者様が安心して検査を受けていただける部署づくりを目指しています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

2019 年度の撮影件数は、別紙の通りです。

30 年度と比較し、透析患者様、外来患者様の増加により一般撮影や CT 撮影の件数が増加してきました。

エコーについては腹部エコーだけでなく、頸部エコーやシャントエコーにも少しずつですが対応するようになり検査の幅が少し広がりました。今後も適切な報告書が返せるよう今後も技術・知識の習得を図っていきます。　現在、放射線部門で頸部エコー、心エコーに対応できるスタッフがいない状態です。2020 年度は頸部エコー、心エコーに対応できる様、取り組んでいきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

マルチスライス CT や外科用 C アーム導入から 6 年経過しました。マルチスライス CT を導入したことで、検査に要する時間を大幅に短縮できるようになり、装置を更新したことで造影 CT にかかる時間を短縮できるようになりました。単純 CT 撮影も以前と比べ検査時間が短縮されました。

C アームを導入し、PTA だけではなく CAPD カテーテル留置の術中対応や内頸カテーテル留置等対応する検査の幅が増えました。対応する検査が増加することで被曝も増加します。今後は患者様、スタッフの被曝低減も考えて対応していきたいと思います。

研究・自己啓発活動について

放射線技師会や放射線技術学会等に入会し、積極的に研修や学会に参加しスキルアップに努めています。その他研修会にも参加し、撮影技術以外の知識向上に努めています。

地域活動について

2019 年度はイベント等で交流を図る事はできませんでした。今後イベント等開催される時には積極的に参加していきます。

(6) 臨床工学科

部門紹介

臨床工学科は、上山病院に臨床工学技士 6 名・准看護士 1 名・助手 1 名、うえやま腎クリニックに臨床工学技士 2 名・の計 10 名で構成されています。

透析監視装置は、上山病院に 92 台（HD 装置 42 台、HDF 装置 50 台）、うえやま腎クリニックに 38 台（HD 装置 18 台、HDF 装置 20）配置してあります。

医療機器のメンテナンスを充実させ、安全で効率的な運用ができる環境作りを目指すと共に、患者様に安心して満足した透析を受けていただけるよう、他職種と連携し技術向上に努めています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

〈2019 年度〉

・患者様個々に合った血液浄化療法が提供できるように取り組んでいきます。
検査データを分析し医師と連携しながら患者様に合った透析膜やドライウエイト決定に貢献することができました。

〈2020 年度〉

・臨床工学技士を増員して他部署への協力体制を整え、職員組織力の向上に努めていきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

安全で質の高い血液浄化療法を患者様へ提供できるように、2020 年度の部署目標を立てました。

・地域の皆様の安心・安全な生活を支えるために医療機器の整備、透析プランの提供を行います。
・透析だけでなく、医療、介護、自費サービスにおいて臨床工学科は何ができるかを常に考えながら職員も患者も「自分らしく生きる」ことに努めます。
・自部署の職場環境の充実を図るためのプランを臨床工学科のスタッフ一人一人が提案して挑戦できるような職場づくりを目指します。またスタッフを支えてくれる家族に感謝することを忘れない部署を目指します。

研究・自己啓発活動について

・電子カルテ導入により、効率的・効果的な透析治療を目指します。
・体成分分析装置 InBody 測定検査をドライウエイト決定の一つの指標としていきます。

地域活動について

2019 年度は特にありませんでした。

(7) 栄養科

部門紹介

栄養科は、管理栄養士 2 名、給食業務委託先の栄養士 1 名および調理員 4 名で構成されています。業務内容は、患者様一人ひとりに合った食品構成の作成、献立作成とその展開、栄養管理、栄養指導・栄養相談、食材の発注・検品などです。治療効果が上がり、なおかつ入院生活の中の楽しみの一つだと思っていただけるような季節感のある食事の提供を心掛けています。

また、食事摂取量の少ない方や栄養状態の低下がみられる方には、主に病棟看護師と連携を取り、食事の内容や形態を工夫することで食事摂取量や栄養状態の改善に繋がるよう努めています。栄養指導・栄養相談では、主に腎臓病や透析の食事療法について、患者様の立場になってその方が実践できる内容をわかりやすく伝えることを心掛けてお話ししています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

2019 年度は電子カルテ導入に伴い、入院患者様の食事提供基準の標準化を図りました。これにより他部署からも、電子カルテ上で提供している食事内容や形態等がすぐに分かるようになり、食事変更等がスムーズに行えるようになりました。

また栄養指導の一環として当院の食事を試食する「じんあいキッチン」を、2015 年度から継続して実施しています。患者様はもちろんのこと、ご家族も実際に治療食を試食することで食事療法に対しての理解を深めていただける良い機会になっているのではないかと思います。

※コロナウイルス感染予防対策の為、2020 年 6 月現在は休止中。時期を見て再開していきます。

2020 年度は、外来・病棟・透析室・腎クリニックと密に連携をとり、より多くの方々に栄養指導・栄養相談を行えるよう取り組んでいきたいと思います。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

喫食・嗜好調査を年 4 回、入院患者様を対象に行っています。調査をすることで患者様の嗜好の傾向を把握し、その結果や食事へのご意見などを献立に反映させられるように努めています。また、食事の個別対応も行っており、可能な限り患者様のご要望にお応えしています。

患者様のなかには食事療法に対して不安を持っている方も少なくないため、栄養指導等では患者様の話を聞き適切なアドバイスができるように努めています。

研究・自己啓発活動について

日本栄養士会、日本高血圧学会に入会し、食・栄養に関する学会や研修会に積極的に参加しています。得た知識や情報を業務に活かせるよう自己研鑽に励んでいます。

2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、学会や研修会等に参加できていない状況ですが、教材やオンライン等を使用した、個人での自己研鑽に励みたいと思います。

地域活動について

2019 年度は腎臓いきいき教室を年 5 回開催しました。教室は多職種で構成されており、栄養科は食事療法についてお話ししています。その際に腎臓病食の試食も行っており、味付けや調理方法などを体験していただいています。

(8) リハビリテーション科

部門紹介

リハビリテーション科は 2015 年 5 月に開設され、2018 年 10 月より理学療法士 2 名体制にて運動器リハビリテーションに取り組んでおります。

2018 年 6 月より指定居宅サービス事業者及び指定介護予防サービス事業者の指定を受け訪問リハビリテーション・介護予防リハビリテーションが開始となりました。

安心した在宅生活を目指し、患者様の思いを確認しながら患者様とともに日々奮闘しております。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

① 個別リハビリテーション

② 退院前訪問

③ 退院時リハビリテーション指導表作成・指導実施

④ 目標設定管理シート作成・指導実施

⑤ 訪問リハビリテーション・介護予防リハビリテーション

【2019 年度　入院・訪問リハビリテーション介入件数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	250	229	170	133	182	175	166	144	149	165	154	200
訪問	92	102	80	132	112	118	166	140	142	150	138	136

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

安心した在宅生活が送れるよう、退院後に自宅での生活が不安な方に対しては、医師の指示のもとケアマネージャーの居宅サービス計画等に基づき訪問リハビリテーション(介護予防リハビリテーション)にて日常生活における不安な動作(歩行や階段昇降等)練習も行っています。2019 年度に当院を退院された 3 名の方が退院後も訪問リハビリテーションにてリハビリテーションを継続し、安心した在宅生活動作の獲得に向け取り組んでおります。

また、2020 年 5 月より日本腎臓リハビリテーション学会より認定を受けた腎臓リハビリテーション指導士が入院・訪問リハビリテーション業務に努めます。慢性腎臓病患者・透析患者など腎機能が低下している患者様に対し、より質の高いリハビリテーションの提供を目指し邁進して参ります。

研究・自己啓発活動について

第 10 回日本腎臓リハビリテーション学会参加(2019 年 2 月 23･24 日:ベルサール新宿グランド)

第 14 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会新潟参加(2019 年 6 月 29・30 日)

九州理学療法士学術大会 2019 参加(2019 年 10 月 12・13 日)

その他、理学療法士協会、鹿児島市主催の様々な分野の研修会に参加し、多くの患者様に対応できるよう自己研鑽に励んでいます。

地域活動について

2019 年度は上山病院周辺にお住いの方を対象とした、介護相談会「介護・福祉の茶のん会」を 11 月に開催し参加いたしました。

(9) 看護部

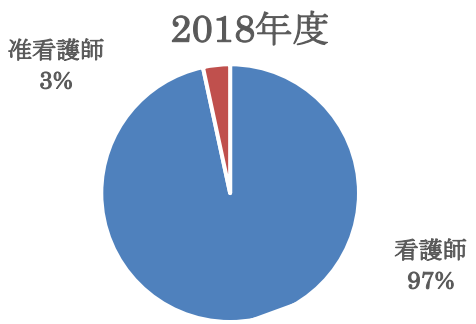
部門紹介

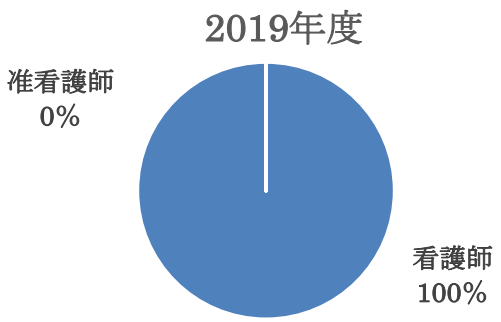
【概要】

腎愛会看護部は、上山病院の病棟、透析室、外来・手術室の 3 単位とうえやま腎クリニックの 1 単位、訪問看護ステーション光陽が加わり、5 単位合同で連携を取り看護活動を展開しています。うえやま腎クリニックでの形成外科外来においても、診療の補助業務、手術介助等の役割を担い、活動の幅が拡大しています。

また、看護部は、“主体的に自己育成できる”が目標です。看護協会への研修参加は勿論、鹿児島県地域糖尿病療養指導士の資格取得、各種学会発表や参加など、各自がそれぞれに目標を立て取り組みを行ってきました。また、長年支援してきた、准看護師の正看護師資格取得においても、在職中の最後の准看護師 2 名が無事看護学校を卒業、国家試験に合格することができました。

＜看護師と准看護師の割合＞





2019 年度および 2020 年度の取り組み

組織の改革と次世代の役職育成を目指し、新しく、副主任を 3 名輩出することができました。看護部の役職者 13 名は、人としても成長できるようお互い支えあいながら活動しています。また、看護部の教育に力を入れるため、病棟師長を兼務していた教育師長を専任としました。さらに、子育て世代の多い看護師の“研修に参加したくてもできない。自分の時間が作れない。知識不足が心配・・・”等の声を受け、e-ラーニングを導入しました。各部署の研修や、院内研修、自宅での自己学習などに活用しています。

腹膜透析治療では、バクスター主催の CQI 実践セミナーに、訪看、病棟、外来看護師の代表 1 名ずつが参加、セミナーを受講する中で、各部署で患者に指導する手技が、統一されていないことに気づき、統一したスタッフ教育の確立を目指しました。その活動を通して、連携の強化は勿論、一体感も生まれたようです。新型コロナ感染拡大の影響で、発表会が中止になり、成果を発表できず残念でした。

外来看護師が取り組んでいる、療法選択に関しても順調に経過しており、新たに対応できる看護師育成が始まっています。

看護師の定着は、今年度は 14.5%と昨年の倍の離職率となりました。理由は様々ですが、ワークライフバランスの見直しや何かモチベーションをあげる取り組みが必要だと痛感しています。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様ご利用者様満足度向上の取り組み～

現在の少子・高齢社会の中、医療提供体制の変化に伴い、看護実践の場や看護師の背景に関わらず、全ての看護師に共通する看護実践能力の指標と開発の支援などを目的に、日本看護協会は標準化されたクリニカルラダーを開発・公表しました。当院は、これまで独自のクリニカルラダーで人材育成に取り組んできましたが、今年度はそのラダーを見直し、新たに、あらゆる場で活用できる“うえやま new クリニカルラダー”を導入しました。全体でレベルⅠ29 名、レベルⅡ10 名、レベルⅢ2 名、レベルⅣ4 名が認定を受けています。

また、当院で透析治療を受けておられる患者様に、“最後の時まで自分らしく生きてほしい”と事前指示書配布の取り組みを進めてきました。入院時に配布することで、患者様にも周知され、意思表示をする患者様が増えてきました。

研究・自己啓発活動について

研究発表

第 64 回日本透析医学会　透析室　『患者の視点から穿刺を考える』発表

バクスター主催　CQI 実践セミナー　研修参加

院内発表会でも、看護部の 2 部署が、日頃の活動や学びをまとめ、発表しています。また、院外研修には、昨年と同様、個人が関心のあるものや学びたいものに、1 つは参加することを目標に取り組みました。目標管理の個人目標にも、研修参加を掲げ取り組む看護職は多く、目標を持って、自己啓発に取り組む意識が根付いてきました。

地域活動について

看護協会が主催する町の保健室への派遣などで地域との交流を深めました。院内では、看護部の各部署の代表が、腎臓いきいき教室に参加し、講師を務めています。

(10) 外来・手術室

部門紹介

当院外来は、一般内科・腎臓内科・人工透析内科・循環器内科・血管外科・禁煙外来を掲げております。近年様々な疾患の方が、身近な医療機関として受診してくださるようになり、多岐にわたっています。循環器医師が常駐し、高血圧・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病の指導の充実、診察や検査結果により、専門医への紹介など適切な医療を行っています。また、病院の『顔』となれますよう在宅透析医療・看護にも今まで以上の取り組みと学習を行っています。

外来看護師は 6 名体制で、外来診療業務のほかに、検査案内（エコー・CT・ホルター心電図など)、手術(シャント関係・PTA・CAPD カテーテル挿入・下肢静脈瘤の手術など）中材管理を担当しています。外来チームとして医事課・地域連携室・検査科・薬局・栄養科などと連携し、患者様の QOL 向上を目指し、その人らしさを大切にしながら、支援できるよう努めています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

2019 年末より看護師による SDM 療法選択説明を実施し、透析導入する患者に不安なく納得した治療を行っております。SDM 実施看護師が多く輩出できるように学習していきたいと考えています。取り組みから 2019 年度まで SDM 療法選択実施患者数 13 名

手術年間件数　合計 270 件

シャント関連　86 件				PTA	CAPD 関連　29 件			下肢静脈瘤切除	その他
内シャント設置術	グラフト挿入	血栓除去	その他		カテーテル挿入	カテーテル抜去	その他		
66	21	10	8	134	11	11	5	1	3

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

患者様の受診目的や病状、ニーズに沿った医療、看護を提供するには、まず気持ちよく、安心して受診していただくことと、「また来てみようかな」と思っていただくことと考えます。そのためにも私たちスタッフが、優しい笑顔・丁寧な言葉づかい・穏やかな態度で応対するよう心がけています。また待ち時間が長くならないように、受付・医事課・検査部門などと連携し、情報を共有しながら「目配り・気配り・心配り」の実践に努めています。

研究・自己啓発活動について

日本糖尿病教育看護学会・日本糖尿病学会九州支部会参加

日本透析医会学術集会・総会参加　　バクスター主催 CQI 実践セミナー参加

九州 CAPD 検討会参加　　学研 e-ラーニング視聴

地域活動について

腎臓いきいき教室は年に 4 回、公開講座として開催しています。案内は主に外来スタッフが行っていますが、各部署の専門スタッフが講師を務め、2019 年度は、37 名が受講され好評でした。

（11）透析室

部門紹介

透析室は、同時透析ベッド数 74 床で、約 200 名（ハイブリッド 9 名含む）の患者様の透析治療を行っています。看護スタッフ 32 名（看護師 22 名・准看護師 1 名・ケアスタッフ 8 名・クラーク 1 名）と医師・臨床工学士・ソーシャルワーカー・医療事務・検査技師と連携をとり業務を行っています。

透析患者様は、年々高齢化が進み、通院や在宅での生活に困難を来す患者様が増加しています。そのためソーシャルワーカー・家族と相談しながら社会資源を活用し在宅での生活が続けられるよう支援を行っています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

1.電子カルテ稼働

2019 年 12 月より本稼働し、それに伴い業務が多様化し、稼働前はスタッフの不安や戸惑いがありましたが、現在ではカルテ操作がスムーズにできるようになっています。しかし、電子カルテに伴う連携ミスによりインシデントが 14 件発生しています。今後も業務改善に取り組み患者様に安心・安全な透析治療を提供できるよう努力していきます。

2.エコー下穿刺の取り組み（看護師）

2017 年から取り組んでいる看護師のエコー下穿刺は今年で 4 年目になります。5 名の看護師が穿刺トラブルの対応が可能となり、現在指導する立場になっています。さらに 2 名の看護師が「エコー下穿刺技術プログラム」に沿って習得しています。患者様にとって穿刺は侵襲的な痛みや恐怖を慢性的に感じています。それを少しでも軽減できるよう今後も看護師の穿刺技術向上に取り組んでいきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

「患者満足度調査」のアンケート結果や指摘を謙虚に受け止め、「気配り・目配り・心配り」と相手を思いやる気持ちをモットーに、接遇に注意し信頼関係が築いていけるよう努力しています。

５Ｓ活動の「整理・整頓・清潔・清掃・躾」を基本に環境美化にも務め、患者様が心地よく安心・安全な透析治療が受けられるようスタッフ一同で取り組んでいます。

研究・自己啓発活動について

2019 年 6 月第 64 回日本透析医学会で「患者の視点から穿刺を考える」発表

2019 年度院内発表で「シャントマッサージの有用性　繰り返し狭窄する血管へシャントマッサージを行い開存期間の延長を図る」発表

資格取得については、2020 年 3 月、看護師国家試験に 1 名合格し、正看護師の資格を取得することができました。また、e-ラーニングを活用した学びや興味のある研修に参加し、日々自己研鑽に努めています。

地域活動について

年に 6 回開催される腎臓いきいき教室に 2 名が参加し講師を務めています。インフルエンザ流行時期の開催を見送り、今年度の開催は 4 回でした。

(12) 病　棟

部門紹介

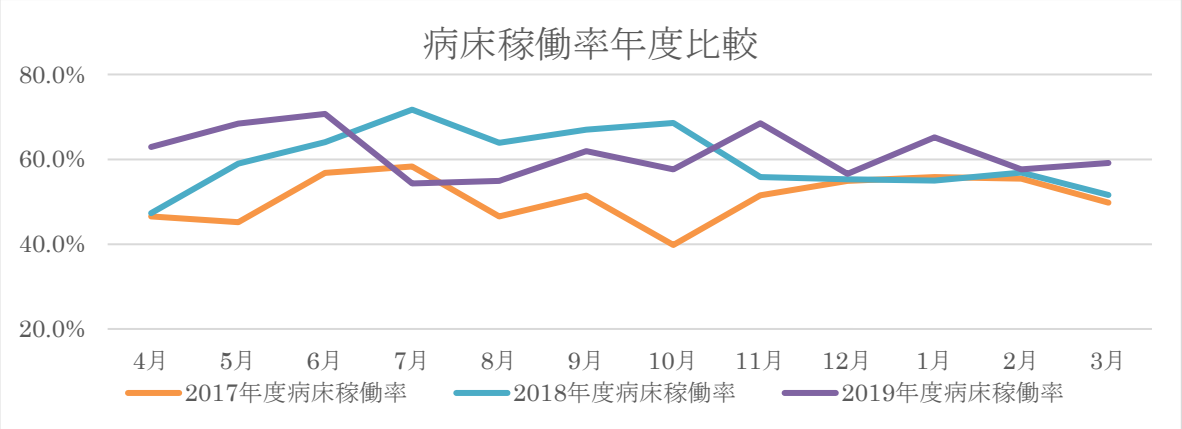
当病棟は、看護師 20 名・ケアスタッフ 9 名が所属し、医療療養型病床 40 床と血液透析 17 床の治療を行っています。慢性腎不全における療法選択期の保存治療をはじめ、血液・腹膜透析の導入期から維持透析期の治療・看護・介護を行っています。

入院患者の平均年齢は 73.3 歳で、年々、高齢化と共に複雑な家庭環境の方が増えています。食事・内服薬・シャント・体重等の自己管理指導を行い、社会資源を必要とする方については、他職種、他施設と連携することで、安心して入退院できる環境づくりを心掛けています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

【導入実績】　腹膜透析導入 9 名　　血液透析導入 22 名　（2019 年度 1 年間）

【入院患者の手術件数】　　124 件/年　（2019 年度 1 年間）



エコー下穿刺の取り組み（看護師）

1 名の看護師が「エコー下穿刺技術プログラム」に沿って習得し、穿刺時の侵襲や恐怖を軽減できるようになりました。今後も看護師の穿刺技術向上を目指します。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

患者およびご家族が、治療について理解し納得された上で、前向きに取り組める療養環境作りを目指しています。また、医師をはじめ薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、理学療法士、訪問看護師等と連携を密にとり、安心して退院後の生活へ移行できるよう病棟看護師が中心的役割を担っています。維持透析患者様においては、自宅や施設との連携がスムーズとなるよう、電話連絡だけでなく、連絡帳を活用しています。

研究・自己啓発活動について

院内研究発表　「嚥下困難患者の経口摂取を試みて」

介護福祉士　1 名取得

地域活動について

鹿児島県看護協会　事業部役員

腎臓いきいき教室にて CKD 予防の取り組み

（13）うえやま腎クリニック

部門紹介

うえやま腎クリニックでは、人工透析・形成外科・BCS 外来を掲げています。透析室看護師 10 名・臨床工学技士 2 名・ケアスタッフ 2 名、形成外科外来看護師 2 名が所属しています。

透析室では、ベッド数 40 床で 60 名の透析患者様が、落ち着いた雰囲気の中で、透析治療を行っています。患者様と、ご家族そして、職員にも笑顔がうまれる安心・安全な治療環境と満足と信頼の看護を実践できるよう取り組んでいます。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

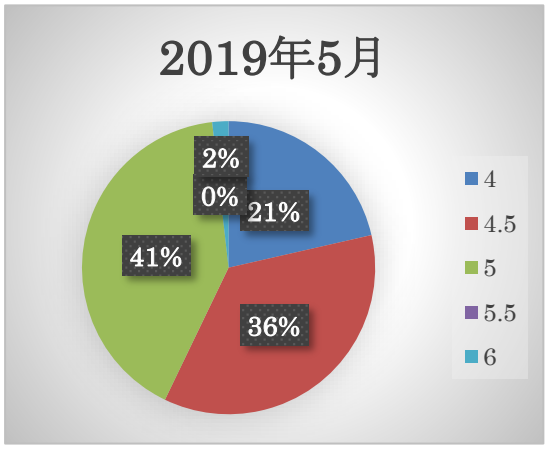
＜臨床工学科＞

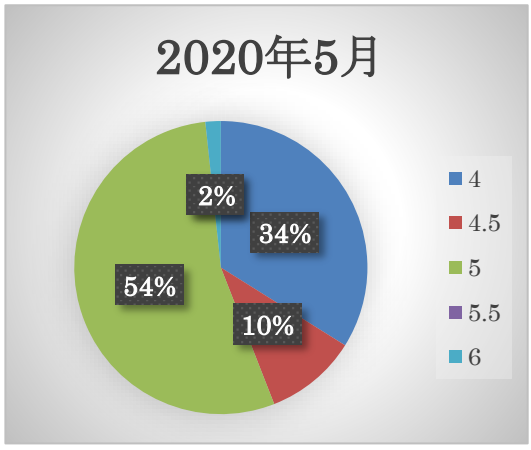
患者様一人一人の透析効率を毎月評価し、透析条件の見直しを行いました。

5時間透析の割合が 41%→54%（全国平均 10%未満）

4.5 時間透析の割合が 36%→10%となりました。

透析時間は一度設定されてしまうと、ずっと固定されてしまいがちです。多くの方が 5 時間以上の透析が必要であると考えますが、中には 4 時間透析でも十分な方もいらっしゃいます。毎月の血液検査から生活背景、身体の調子を推測し、最適な透析プランの提供を今後も検討していきたいと思います。



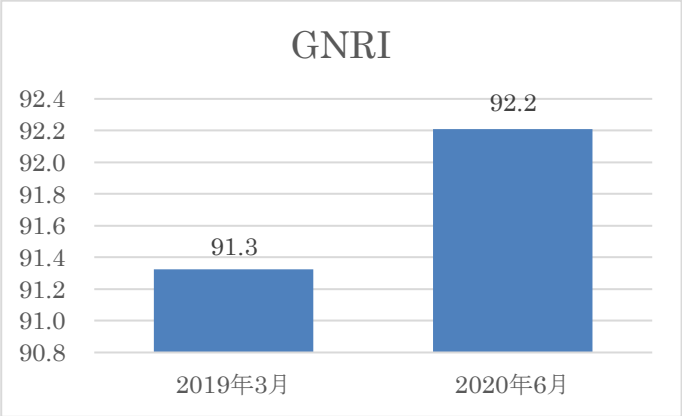


GNRI（Geriatric Nutritional Risk Index）の変化

2019 年 3 月と 2020 年 6 月の比較（同一患者 49 名）

栄養指標の 1 つ GNRI は加齢と透析年数と共に維持するのが難しいとされていますが、「よく食べて無理のない範囲で十分な透析をする」これにより GNRI の改善傾向が見られました。

（目標 91.0 以上）



〈看護部〉

・エコー下穿刺を 3 名の看護師が習得し、穿刺トラブル時の対応も行っています。現在 1 名の看護師が指導を受けています。看護師がエコー下穿刺を習得することにより、穿刺時のストレスが軽減し、患者様も安心して、透析治療が開始できるようになりました。スタッフ全員がエコー下穿刺を取得できるよう取り組んで行きます。

・透析患者 60 名のうち 23 名が、糖尿病合併管理料の対象患者であり、月 1 回 30 分以上かけてフットケア・指導を行っています。対象外の患者様も月 1 回から 3 カ月に 1 回フットケア・指導を行っています。

スタッフ協力体制のもと、業務改善を行い、ケアの時間と、記録時間の確保できるようになりました。患者様自身が足の大切さを理解して頂けるように、パンフレットを活用し説明しながら、ケアを行っています。その結果、患者様から足の相談を受けるようになり、意識の変化見られるようになりました。これからも、患者様と共に「足を目と手で見る」機会を増やし、患者自身が行えるフットケアを提案できるよう取り組んで行きたいと思います。

〈形成外科外来〉

粉瘤・血管拡張性肉芽腫・母斑（ほくろ）・疣贅（イボ）・稗粒腫・アクロコルドン・軟性線維腫ボーエン病・基底細胞がん・有棘細胞がん等など外傷新鮮外傷・傷跡等 対応しています。フットケアでは、巻き爪・陥入爪・胼胝・鶏眼等の除去などを行い、糖尿病重症化予防フットケア研修会を修了した看護師 3 名と英国式リフレクソロジー認定士 1 名でチームを編成し、フットケアに取り組んでいます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

看護師をはじめとしたスタッフが日々、知識や技術の向上を図り、患者様に寄り添い、安心・安全な看護ケアが実践できるように職場環境を整えていきます。また、ご家族や関係する施設と連携し、社会資源を活用し、患者様の生活スタイルに合わせた、質の高い看護が提供できるよう取り組んで行きます。

研究・自己啓発活動について

3 月看護師国家試験に 1 名合格し正看護師の資格取得

クリニカルラダーⅠ取得者　　2 名

院内研究発表「当院でのフットケアの取り組みと現状」

地域活動について

クリニック正面玄関前にバス停があることを考慮し、照明を 22 時まで点灯しています。

地域の防犯対策の一翼を担っています。

(14) 事業課（ビューティー・コア・サポート）

部門紹介

ビューティー・コア・サポートは医師 1 名、看護師 2 名(形成外科兼務)と、エステティシャン 2 名で日々の業務にあたっています。2017 年度より新たに始めた事業で、「時代に合わせた最新の治療を常に模索し、あなたの 10 年先、20 年先を見据えた情報を提供することで、あなたの人生設計をサポートする」自由診療の外来です。

事業内容は①分子栄養療法、②美容施術、③点滴・注射、④レーザー治療、⑤フットケア、⑥サプリメント等の商品販売をしています。

2018 年 6 月からは保険診療の形成外科が開設され、自由診療と連携を図って、幅広く展開しています。今後もスタッフ一人ひとりが技術をみがき、ご利用者様に選ばれる安心・安全なサービスを提供していきます。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

ビューティー・コア・サポートは、「体の内側と外側」の両面からアプローチできる自由診療外来です。

分子栄養療法とは「身体は全て繋がっているという考えのもとに不足している栄養素を補うことで身体を細胞レベルから整える治療法」です。この分子栄養療法を幅広い方たちに知って頂くために、2019 年 2 月より 2020 年 1 月まで、毎月テーマを決めて「ビューティー・コア・サポートセミナー」を 12 回開催しました。

また、ホームページのリニューアルをして内容を充実させ、ブログやインスタグラムでの情報発信も開始し、SNS を利用した広報に力を入れてきました。また、LINE での予約システムやポイントサービスも開始して、お客様が利用しやすいシステムも取り入れました。

2020 年度は「身体の内側から」は勿論の事、「外側から」もアプローチしていくための情報発信は勿論のこと、それぞれの施術のスキルアップに加え、フットケアの知識や技術を強化していきます。健康と美に対して幅広い方々に知って頂き、お伝えすること、更には、来院されたお客様に満足いただける施術、おもてなし、空間が出来るよう、取り組んでいきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

完全自由診療の当外来では、お客様とのコミュニケーションが大変重要になってきます。
定期的に施術技術のチェックや接遇チェックをしています。またアンケートによる満足度調査や、お客様の声を直接聞く機会を増やすことで、お客様満足度の向上を目指します。

また、丁寧な接遇にも力を入れており挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉づかいに気をつけ、お客様だけでなく職員に対しても好感のもてる接遇ができるよう心がけています。

お客様が快適に過ごしてもらえるよう掃除や点検を徹底し、環境整備・清潔・美化に取り組んでいきます。

研究・自己啓発活動について

ご利用様のニーズに合わせた対応がスムーズにできるよう、取り扱い機器・サプリメントの勉強会や、上山院長による施術指導を受けています。

また、それぞれのスタッフの得意分野を全員で習得し、スタッフ全体が同じ水準で接客できるようスタッフ間での情報、知識交換もおこなっています。

地域活動について

2019 年度は下記の通り地域の皆様が参加できるビューティー・コア・サポートセミナーを開催し、上山院長の講話とゲストの講師の方々の講話や実演などを行い、普段の生活や食生活・健康に役立つ情報を発信しました。

第 1 回	2/17	「美の基礎は骨と筋肉」
第 2 回	3/17	「分子栄養学的血液検査の見方」
第 3 回	4/21	「食べて美しく」～あなたの食習慣に不調の原因が隠されている～
第 4 回	5/26	「植物の恵み」～美の一滴は植物から～
第 5 回	6/16	「お酢のチカラ」
第 6 回	7/21	「私の分岐点は“魚醤”」
第 7 回	8/24	「発酵の原点たるお酒の深い話」
第 8 回	9/16	「ボディメイクの基礎」～腸と足～
第 9 回	10/27	「オイルの達人」～良い脂質で心も体もピカピカに～
第 10 回	11/24	「これからのバイオエコノミー～日本食と麹菌～」
第 11 回	12/15	「温泉の極意」
第 12 回	1/25	「桜島大根のチカラ」

（15）サービス付き高齢者向け住宅　光陽

部門紹介

サービス付き高齢者向け住宅は、60 歳以上の方と要支援・要介護認定を受けている 60 歳未満の方が入居できる施設です。職員 8 名で担当しており、居室は 30 室あります。2020 年 3 月末時点では、お一人様入居やご夫婦で 31 名の方が入居されています。

高齢化が急速に進む昨今において、入居者皆様の生活をどのように維持・改善していくのかを考え、入居者の自分らしく生きることをお手伝いして参ります。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

2019 年度

長寿あんしん相談センターや医療機関・居宅介護支援事業所・地域連携室との連携強化を図り、さらなる知名度アップに努めます。

おかげさまで入居者が増え、残りの空室についても見学や問い合わせを頂き、満室に向けて取り組みました。また、介護が必要な方のみならず、支援等必要のない方についても快適な生活を維持するために、関係事業所等と連携し、適切な支援を提供できるよう努めました。

2020 年度

年度初めに満室となりましたが、残念ながら退居される方があり、空室が出ました。複数のお問い合わせを頂いておりましたが、新型コロナウイルスの影響から、入居に関する見学などの手続きが踏めない時期がありました。今後新規入居者を頂くべく努めて参ります。

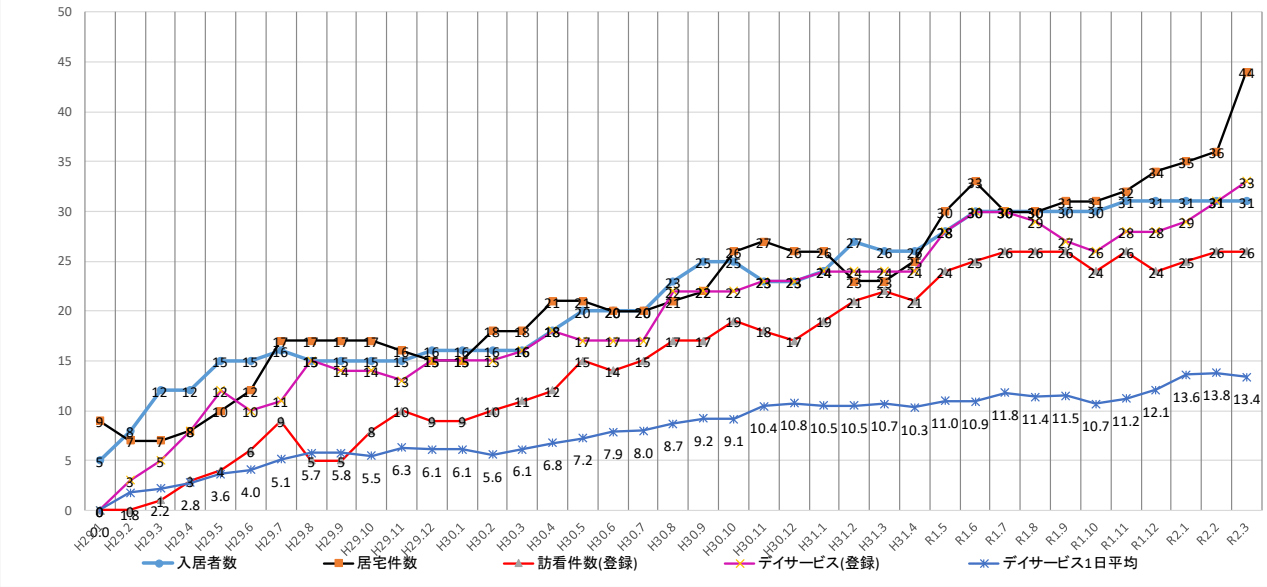
新型コロナウイルス感染に関しては、当法人と足並みをそろえて対応して参ります。

現在入居されている方々のための訪問理美容や、月 1 回の出前の日は、状況を見て実施致します。

光陽関連事業所の利用者増のために、法人内各部署との連携を強化して参ります。

光陽利用者数推移（2017.1～）

	H29.1	H29.2	H29.3	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3
入居者数	5	8	12	12	15	15	16	15	15	15	15	16	16	16	16	18	20	20	20	23	25	25	23	23	24	27	26	26	28	30	30	30	30	30	31	31	31	31	31
居宅件数	9	7	7	8	10	12	17	17	17	17	16	15	15	18	18	21	21	20	20	21	22	26	27	26	26	23	23	25	30	33	30	30	31	31	32	34	35	36	44
訪看件数(登録)	0	0	1	3	4	6	9	5	5	8	10	9	9	10	11	12	15	14	15	17	17	19	18	17	19	21	22	21	24	25	26	26	26	24	26	24	25	26	26
デイサービス(登録)	0	3	5	8	12	10	11	15	14	14	13	15	15	15	16	18	17	17	17	22	22	22	23	23	24	24	24	24	28	30	30	29	27	26	28	28	29	31	33
デイサービス1日平均	0.0	1.8	2.2	2.8	3.6	4.0	5.1	5.7	5.8	5.5	6.3	6.1	6.1	5.6	6.1	6.8	7.2	7.9	8.0	8.7	9.2	9.1	10.4	10.8	10.5	10.5	10.7	10.3	11.0	10.9	11.8	11.4	11.5	10.7	11.2	12.1	13.6	13.8	13.4



信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～ 　入居者と日々の生活の中で、信頼関係を構築することに取り組みます。入居者がいつまでも暮らしていきたいと思っていただけるように、要望等を頂いた場合は傾聴の上適切に検討し、対応させていただきたいと思います。また、様々なニーズに対応できるような支援体制を確立していきます。
研究・自己啓発活動について 　多様化するニーズに対応できる介護知識や技術を、法人内外の研修で習得できるように、自己研鑽に努めます。また、困難な事例を持ち寄り、多職種間で検討し常に最適なサービスが提供できるように進めていきます。
地域活動について 　地域認知度を高めるために、地域のヘルパーステーションや居宅介護事業所への訪問や情報提供をおこない、関係施設を中心にチラシ配布や広報活動を展開していきます。法人イベントとしての「介護・福祉の茶のん会」にも積極的に参加し、地域の方々との交流を行います。

(16) 訪問看護ステーション　光陽

部門紹介

設立から3年が経つ常勤看護師4名が在籍する24時間対応のステーションです。訪問看護の内容では、主に腹膜透析支援や褥瘡処置、ストーマ、膀胱瘻や胃ろう管理、点滴などが多く、上山病院をはじめ、近隣の病院からのご紹介も増えつつあります。"心を込めて、宇宿の街から、喜びと、うれしい笑顔のお手伝い"をモットーに、利用者とそのご家族の思いに添いながら、関係機関と連携を図り質の高い看護の提供に努めています。今後も信頼され選ばれるステーションになるよう、スタッフ一同協力して取り組んでいきたいと思います。

2019年度及び2020年度の取り組み

2019年度は①適切な訪問看護の提供　②院内外との連携強化 ③新規登録者年間30名を目標に挙げ、院内連携強化、外部事業所への広報活動などを行い、業務拡大に努めてきました。また利用者の情報を共有し、チームで利用者を支える基盤作りにも取り組みました。訪問実績の推移は以下の通りです。

【毎月の訪問件数の推移】新規利用登録者数23名/年　　月間平均訪問件数143件/月

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
医療	79	66	50	65	90	56	59	45	58	84	51	73	776
介護	82	68	78	96	81	78	81	75	80	73	67	82	941
総計	161	134	128	161	171	134	140	120	138	157	118	156	1717

2020 年度もケースカンファレンスや勉強会を継続してスキルを高め、在宅でのお困りごとが少しでも解決できるように関係機関と連携して適切な訪問看護の提供に努めていきたいと思います。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

設立後初めて10月にアンケート形式で利用者満足度調査を実施し、ほとんどの項目で満足との評価を頂きました。また上山病院と光陽合同で11月に「介護・福祉の茶のん会」を実施し、様々な相談を受けました。今後もます高齢化は進み、医療と介護・福祉の連携は重要になってきます。医療法人腎愛会だけでなく地域の病院や居宅介護支援事業所等とも積極的に連携を図り、病気や障害を持ちながらも在宅で望む生活を送れるよう、関わる全ての人々に対して丁寧な対応を心掛けていきたいと思います。

研究・自己啓発活動について

2019年度は、訪問看護育成研修をはじめ、腹膜透析CQI実践セミナーや認知症心理カウンセラー、鹿児島市在宅医会事例検討会、多職種連携会議などの外部研修に参加できました。また学研ナーシングｅ-ラーニングを活用し、看護全般について学ぶことができました。2020年は、新型コロナウイルスの影響で予定されていた講習会等の延期やキャンセルもありますが、可能な範囲で教材やオンライン等を活用し、学ぶ努力をしていきます。

地域活動について

2019年11月に上山病院外来待合室で相談会「介護・福祉の茶のん会」を開催しました。

(17) ケアプランセンター　光陽

部門紹介

居宅介護支援事業者は要介護認定を受けている満 40 歳以上の方が対象になります。在宅で安心して生活が送れるように利用者に必要なサービスの提案やサービス調整を行っています。

利用者も増えてきており、他事業所との情報共有や地域に密着した広報活動を行っております。

上山病院地域連携室とも連携し、ご利用者様ご家族様が相談しやすい居宅支援事業所である様に努めています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

2019 年度

昨年度同様、保険者・地域包括支援センター・医療機関・当法人地域連携室・地域の各事業所との連携を強化し、地域課題の把握や新規利用者獲得に取り組み、利用者がその人らしい生活を送れるような支援を心掛けました。

2020 年度

登録利用者が増え、業務も充実して参りました。居宅介護支援事業所として、適切な支援を実践できるよう努めます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

利用者が自立した生活が送れるよう、利用者やご家族との信頼関係を構築し、個別化された居宅サービス計画を基に支援し、利用者の状況把握に努め、体調変化等に応じた相談支援やサービス調整を丁寧に行います。

ケアプラン対応依頼には迅速に対応し、一つ一つ適切に対応することで、周囲との信頼性が増し、新規利用者獲得につながると考えています。

研究・自己啓発活動について

介護保険課，各関係機関の外部研修や、法人内部研修等に積極的に参加し、介護保険法やケアマネジメントに必要な知識を深めます。

困難事例等については、地域包括支援センターと連携を取り、機会があれば地域ケア会議へ情報提供等行い、事例検討に参加することでスキルアップにつながると考えています。

地域活動について

管轄地域包括支援センター主催の地域ケア会議に出席し、連携強化や地域の課題の情報共有を行います。

定期的な広報活動を行う事で、地域事業所とのかかわりを持つようにします。

広報活動においては、当法人のサ高住・デイサービス・訪問看護ステーションも紹介し、光陽全体の知名度を上げるように努め、「介護・福祉の茶のん会」への積極的な介入にて、地域の方々の相談もお聞きできればと思います。

(18) デイサービス光陽

部門紹介

デイサービスとは要介護・要支援認定を受けられた方を対象に、入浴や食事、レクリエーション、機能訓練活動等のサービスを提供する介護保険サービスです。

デイサービス光陽では、「その人らしさ」「個別性」を大切にして、運動や他者との交流、やりたいことを、楽しく過ごして頂くケアを目指しています。

現在、スタッフは生活相談員 6 名、介護職員 4 名（兼務）看護師 1 名です。

ご利用者は現在 36 名の方が登録されています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

サービス付き高齢者向け住宅からのご利用者・ケアプランセンター光陽からのご利用者、他の居宅支援事業所、地域包括支援センターからの紹介も増え、介護保険サービスとして他の部門との連携も増加しております。

木曜日のデイサービス開始で営業日が月～土の営業となり、曜日の調整が可能となりました。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

要介護状態に応じて小集団での活動を取り組む事により、要介護状態の回復も実績があります。また、季節に応じたおやつの提供も大変好評です。

光陽のご利用者が地域の中で安心安全に、楽しみを持って、在宅生活が送れるよう支援を行います。

研究・自己啓発活動について

法人内での研修はもちろん、月一回のデイサービス職員研修や他法人との横のつながりも大切にし、交流を定期的に行い個人としてのスキルアップとチームとしての向上も努めております。

地域活動について

誕生日には一年間の様子を撮影した写真のデータを CD-R でプレゼントとしており喜ばれています。

連携先ケアマネ・民生委員・町内住民の方・ご家族・入居者・ご利用者など光陽内外にオープンな環境づくりに取り組みます。

（19）事務部

部門紹介

2019 年 4 月より組織再編を行い、事務部は医事課と介護課で構成されています。

医事課は、上山病院 並びに うえやま腎クリニックの受付、医療事務、介護請求事務、医師の代行入力業務などを担当しています。今年度から新設された介護課は高齢者福祉複合施設 光陽の運営を主に行っています。

前年度までは事務部は事務長のみの配置でしたが、今年度より常勤職員 1 名、短時間職員 1 名が配置され、より細やかな対応が可能となりました。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

2019 年度で最も大きな出来事は、電子カルテの導入でした。業者の選定から導入までの準備、稼働まで法人全体で取り組みました。最初は操作に慣れないこともあり、待ち時間などが発生しましたが、稼働から現在まで大きなトラブルもなく運用しています。

事務部の取り組みとしては、電話対応の見直しを行いました。これまで腎疾患の初診については予約制としていましたが、全ての診療日で初診・再診にかかわらず予約可能となりました。それに伴い、予約変更等を含めた電話対応件数が増加したため、予約に関する電話受付時間を診療日の 14 時～17 時 30 分としました。また 3 月には薬剤科直通電話ができ、薬剤に関する問合せに迅速に対応する体制が整いました。

これらの取り組みにより、電話での問い合わせ等への対応でお待たせする時間が短くなりました。

2020 年度は新型コロナウイルス感染症により、これまでに無い対応に追われています。管理部門として、今後も現場の職員が感染の心配なく業務が行えるような取り組みを続けていき、患者様や入居者様、利用者様が安心して治療やサービスを受けていただける環境を整えていきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

ご意見箱をはじめ患者様・ご利用者様よりいただいた要望・意見等について、今後も真摯に対応してまいります。

「次世代経営者セミナー」へ参加した職員から、事務部と経営管理部、ユーエスケイ企画の管理職へフィードバック研修を行い、法人の未来を検討・決定するにあたり必要な知識と考え方を学びました。引き続き能動的に動ける管理職の育成に努めていきます。

研究・自己啓発活動について

2020 年の全日本病院学会での発表を目標として、2019 年度はその準備として 9 月に愛知で開催された第 61 回全日本病院学会へ 2 名参加しました。また、学会発表のためのデータ取り及び分析を進めています。

2020 年 9 月に岡山で開催される学会へ演題登録をいたしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で 1 年延期となりました。

地域活動について

2019 年 11 月に、上山病院から地域連携室と訪問リハビリテーション、光陽からサービス付き高齢者向け住宅・デイサービス・訪問看護ステーション・ケアプランセンターの 4 事業が共同で、介護相談会「介護・福祉の茶のん会」を開催いたしました。介護に関するお悩みやご相談にのるだけでなく、腎愛会の介護事業を知っていただく機会ともなりました。

毎年開催予定でしたが、2020 年度の開催は現在のところ未定となっております。新型コロナウイルス感染症が終息しましたら開催する予定です。

(20) 医事課

部門紹介

私たち医事課は、診療に関する事務的業務の役割を担っております。受付・一般外来・透析外来・入院の保険請求事務、各種書類の手続き、健診業務、未収金管理、診療録管理に加えて、医師代行診療入力作業を兼務しております。また、診療に関する集計業務・統計資料作成や施設基準等に係る手続き・実施報告も担当しており、病院経営、医療の質の向上に欠かせない情報を作成しております。他部署との連携を図りながら、医療サービスの提供に努めています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

① 電子カルテ導入

2019 年度は、法人全体で電子カルテ導入に向けて、業務整理および改善を行いました。これまで透析室クラークとして行ってきた業務が、医師代行診療入力となりました。診療行為に関わる知識が今まで以上に必要となり、保険請求業務と合わせて他部署への発信とともに医事課内でも勉強会を行いスムーズな診療となるように努めました。今後も他部署とも良好なコミュニケーションをとりながら、電子カルテ運用規程も含め、整備に努めております。

② 未収金管理

未収金管理マニュアルの見直しを行い、回収に努めた結果、未収金額が前年度比約 80%減となりました。また、未収金に対する意識向上にも繋がり、未収金発生を抑えることが出来ました。2020 年度は、未収金発生分析を行い、未収金発生削減と対処に努めてまいります。

③ 業務改善

電子カルテ導入を想定して、ペーパーレスで保険請求に関する改善を行いました。

予約に関わる電話対応を午後に変更して、午前の外来診療が滞りなく行えるよう改善を行いました。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

笑顔は、言葉を超えた最高のコミュニケーションツールとなることから、「明るい笑顔」をモットーに、話しかけやすい・相談しやすい受付対応に心掛けています。また、治療費や各種書類申請、福祉制度に関することなど、わかりやすく丁寧な説明を行っています。ホスピタルコンシェルジュ検定合格 1 名　正確な業務知識とより患者様に合わせた対応に努め、満足度アップにつなげています。

研究・自己啓発活動について

・他医療機関への見学、電子カルテ導入前の準備を行いました。

・診療報酬に係るワンポイント講座を委員会・カンファレンス等で実施し、多職種へ診療報酬に関する情報提供を行っています。

地域活動について

・腎臓いきいき教室メンバーの一員で、腎臓保存期の患者様の医療費に関わる情報提供を行っています。

（21）法人本部　経営管理部

部門紹介

経営管理部は 2016 年度に新たに設置された部課です。
2019 年度は所属の施設課、経営管理室においては法人全体の管理に関わる業務、新設の事業課でのビューティー・コア・サポート事業の統括を行ってまいりました。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

2019 年度には、法人本部の部署再編を行いました。これまでの枠組みをいったんリセットし、実務・現場優先での編成とした結果、経営管理部には、これまでの経営管理室に施設課、新設部署の事業課が加わり、3 部署体制となりました。新設の事業課は、2018 年度に経営管理室が担当していたビューティー・コア・サポート事業を専業として取り組む部署となっています。

2020 年度は、医療法人腎愛会、メディカルサービス法人である株式会社ユーエスケイ企画の管理部門の業務効率化のため、「医療法人腎愛会　法人本部」を「腎愛会グループ本部」へと改組し、人員体制の見直しをします。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

患者様満足度の向上には職員資質の向上＝役職者の資質能力向上が不可欠と考えます。
2016 年度より法人本部の所属部署、地域連携室、高齢者福祉複合施設「光陽」、株式会社ユーエスケイ企画の管理職での勉強会を月 1 回行ってきました。2018 年度から業務扱いの研修に格上げし、管理職・役職者として職員の手本を示すべく研鑽を積み、2019 年度においては、課題の読み込みと感想文提出については役職者全員に範囲を広げ、役職者の能力の底上げに取り組み始めました。
（課題の読み込みと感想文においては、自分の考えや意志を周囲が理解できるように伝えられる語彙力、文章力、思考力を鍛えるため、副主任以上に提出を義務付けています）

研究・自己啓発活動について

法人の適正運営に必要な人事・労務に関する関連法規、人事制度、組織運営、経理・財務、人材育成、教育研修プログラム、組織論・リーダーシップ等をテーマとした勉強会を開催、参加研修の報告書による一般職員へのフィードバック等を行いました。

地域活動について

「医療・介護・自由診療」という腎愛会グループの 3 本柱で、地域に貢献すべく、2019 年 2 月よりビューティー・コア・サポート事業において「ビューティー・コア・サポートセミナー」を年 12 回開催し、地元鹿児島の素晴らしさと、クリニック上山菜穂院長の専門である分子栄養学に基づいた健康・抗加齢についての先進的な情報発信ができました。

今後も、「医療・介護・自由診療」＝上山病院＆うえやま腎クリニック・高齢者福祉複合施設「光陽」・ビューティー・コア・サポート事業、それぞれの強化と連携を図り、地域に貢献いたします。

(22) 施設課

部門紹介

施設課は運転チーム 7 名、清掃チーム 7 名、運転業務委託 5 名の 19 名で構成しています。
送迎用の車両はワゴンタイプ 5 台、軽自動車 1 台で運営しています。
送迎車 6 台・光陽車 4 台・多目的車 1 台の計 11 台の車両管理を行っています。

運転チームは、透析患者様の送迎を主な任務とし、鹿児島市内、吹上・伊集院方面の他、遠くでは川辺方面に送迎しています。また上山病院・うえやま腎クリニック・高齢者福祉複合施設光陽・ユーエスケイ本部ビル・霧島山荘などの建物や駐車場の管理・防火管理・緑化、設備機器全般の維持管理として、空調機のフィルター・換気扇の清掃、消防設備機器・車いすの点検や、防犯巡回等の業務を行っています。

清掃チームは、上山病院・うえやま腎クリニック・高齢者福祉複合施設光陽施設内・ユーエスケイ本部ビル各フロアの床清掃・ゴミ回収・じゅうたん清掃・浴槽清掃・トイレの他、建物周りなど細部にわたり清掃業務を行っています。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

1. 無事故・無違反を推進するため安全運転管理者を選任しています。
2. 運転技能研修では、他の職員に同乗してもらい乗り心地や運転操作などについて意見を頂き、運転技能向上の取り組みを行いました。
3. 月に 1 度、乗降介助研修や勉強会・ヒヤリハット報告会を開催し、送迎運転の安全性向上に努めています。他部署での安全運転研修・講習を行いました。
4. 車両事故・故障を事前に防ぐ為、始業前点検・日常点検・週点検・月点検を確実に行いました。
5. 他部署との連携を密に取り業務改善に繋げます。
6. これらの取り組みから、患者様に安全で安心なやさしい送迎業務を今後も実践します。
7. 施設管理業務に力をいれ、建物及び設備の状態維持及び改善ができる様、日々の管理・点検を行っています。
8. 各施設年 2 回の防火訓練・年 1 回の防犯訓練を実施しました。

清掃チームは、清掃業務の標準化を図る目標をたて、清掃業務の基本や清掃用具の取り扱いについて研修を行い、清掃技術のレベルアップに努めました。2019 年度も清掃研修・ラウンドを通じ清潔で綺麗な病院清掃、安全な清掃作業を行います。
施設外職員駐車場周りの美化活動や施設内外の緑化活動を施設課全体で行っています。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

運転チームでは、患者送迎の目標である「交通ルールを厳守し、地域の模範となる人に優しい送迎サービス」を目指し、安全運転管理者を中心に「無事故・無違反」を実践していきます。

各施設内外の清掃では、施設課スタッフ全員で、清潔で快適な施設環境を整え、患者様はじめ来院される方々が、気持ち良く施設をご利用頂けるように取り組んでいきます。

研究・自己啓発活動について

1. 院内研修に積極的に参加し、腎愛会の医療・接遇・マナーについて知識を広げていきます。
2. 安全で安心な送迎業務を行うため外部研修（福祉車両運転者講習）を運転チーム全員が取得し、車両事故・転倒事故の防止に努めます。他部署でも安全運転に関する研修・講習を行います。
3. 清掃技能研修（DVD 研修など）を定期的に行い、清掃技術を高めます。

地域活動について

患者様との懇親会に積極的に参加し、親睦を深めています。また美化活動として、病院周りだけではなく、職員駐車場付近まで範囲を拡げ美化活動しています。

(23) 経営管理室

部門紹介

経営管理室は、現在は常勤職員 2 名、短時間職員 1 名体制で、日々の業務を行っています。主な業務として、①人事・給与業務、②経理・財務業務、③広報や、院内研修・各種研修や会議の取りまとめ、企画業務の 3 つがあり、それ以外に法人全体に関わる行事・イベントの企画・運営も担っております。また今年度は電子カルテの導入に向けて IT チームが経営管理室付けとなりました。

2019 年度および 2020 年度の取り組み

① 人事・給与：当法人独自の職員シートの運用を継続して行っています。前年度の反省を元にグループ評価の見直しを行い、より公平に多面的に評価できるよう改善しました。グループ評価者の評価基準や視点の標準化、フィードバック時の面談方法などを同じ水準で実施できるように取り組んでいきます。2020 年度は組織再編によりグループ本部として、グループ全体の人事・給与業務を担っていきます。

② 経理・財務：2019 年度は、医療・介護・自由診療の 3 部門ごとの収支報告の作成を行いました。介護部門については、部門別原価計算を導入してより具体的な数字を把握することに力を入れました。2020 年度は人事・給与と同様にグループ全体の経理・財務を取りまとめ安定した経営基盤を構築できるよう、取り組んでいきます。

③ ＩＴチーム：2019 年度は電子カルテの導入を行いました。IT チームを中心として、他医療機関への視察やワーキンググループ、リハーサル等を行い、2019 年 12 月に稼働することができました。今後も定期的な見直しを行い、患者の皆様により良い医療を提供できる体制を整えます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

患者様・ご利用者様の満足度アップには職員の満足度の向上が不可欠です。福利厚生の充実や働きやすい職場環境の整備に努め、職員のモチベーション向上に繋がる企画立案・実行に取り組みます。

研究・自己啓発活動について

法人の健全な運営に必要な、人事制度、経理・財務の研修に参加し、各自が担っている専門領域の知識を深めました。また院内発表会で「これまでの働き方とこれからの働き方」をテーマに発表を行い、職員の皆さんに現状とこれからの課題について考えてもらう機会となりました。2020 年度は昨年度に引き続き、事務系職員の研修を月に 1 回開催し職員の学びの場を増やすとともに、法人に貢献できるように取り組んでいきます。

地域活動について

法人の企画するイベントに積極的に参加して、地域の方々との交流を深めます。

6 研究実績

(1)発表

年月日	演題	発表者	学会名	会場名
2019年6月29日	患者の視点から穿刺を考える ～看護師のエコー下穿刺導入を通して～	的場	第64回日本透析医学会	パシフィコ横浜
2019年9月1日	Relationship between uric acid, renal dysfunction, and left ventricular remodeling in hypertensive women	Akiko Yoshikawa	The 9th Congress Of The International Society Of Gender Medicine	College of Physicians in Vienna - Billrothhaus
2019年11月2日	当院における腹膜透析関連腹膜炎の治療に対する抗菌薬投与の現状	永松	第29回日本医療薬学会	福岡サンパレス他.
2019年11月3日	ビルダグリプチン服用による類天疱瘡が発現した一例	東	第29回日本医療薬学会	福岡サンパレス他.

(2)座長

年月日	演題名	氏名	学会名	会場名
2019年4月13日	CKD-MBDについて	上山達典	オルケディア錠 発売1周年記念講演会	鹿児島東急REIホテル
2019年5月14日	新次元を拓く静注Ca受容体作動薬	上山達典	鹿児島県透析医会 学術講演会	城山ホテル鹿児島
	当院におけるエテルカルセチドの使用経験			
2019年7月25日	透析患者の腎性貧血治療について	上山達典	鹿児島県透析医会 学術講演会	城山ホテル鹿児島
	泌尿器科分野の最新医療について			
2019年8月8日	現在の透析患者における 透析アミロイド症の予防とその対策	上山達典	透析アミロイド症講演会 in鹿児島	城山ホテル鹿児島
2019年11月14日	糖尿病治療について ～SGLT2阻害薬の有用性～	寺師守彦	谷山地区 Pharmacist Semiar	谷山サザンホール
2019年12月7日	一般口演5	上山達典	第23回日本統合医療学会 学術大会	かごしま県民 交流センター
2019年12月14日	男女共同参画講演 「ワークライフシナジーを語ろう」	嘉川亜希子	女性のトータルヘルスケア 研究会	熊本市医師会館
2020年1月16日	糖尿病罹患CKD患者における腎組織診断の検討	上山達典	鹿児島市内科医会 学術講演会	鹿児島市医師会館
	循環器内科から見た糖尿病患者における CKD予後に関する考察			
2020年1月19日	シンポジウム3「性差と中高年循環器疾患」	嘉川亜希子	第12回日本性差医学・医療 学会学術集会	久留米シティプラザ

(3)院内講演会

年月日	演題名	講師
2019年7月11日	慢性腎臓病(CKD)の現状と治療 ～鹿児島市の取り組みをふまえて～	上山達典

(4)講師

年月日	演題名	氏名	主催	会場名
2019年4月16日	協和キリン㈱社内勉強会 ～人は食べ物でできている～	上山菜穂	協和キリン㈱	協和キリン㈱営業所 会議室
2019年6月6日	協和キリン㈱社内勉強会 血圧・心血管病の管理について ～透析症例を中心に～	寺口記代	協和キリン㈱	協和キリン㈱営業所 会議室
2019年7月5日	循環器領域における性差医療	嘉川亜希子	県立福島医大臨床講義	県立福島医科大学
2019年10月17日	キッセイ薬品工業㈱社内勉強会 ～高リン血症～	寺口記代	キッセイ薬品工業㈱	サンプラザ天文館
2019年10月24日	田辺三菱製薬㈱社会勉強会 CKDの管理と治療 ～鹿児島市の取組みも踏まえて～	上山達典	田辺三菱製薬㈱	田辺三菱製薬㈱ 鹿児島営業所会議室

(5)院内研究発表会（2019年9月12日）

	演題名	発表者
1	シャントマッサージの有用性 ～繰り返し狭窄する血管へシャントマッサージを行い開存期間の延長を図る～	2階透析室　物袋
2	PD外来の予約制導入への取り組み	外来・手術室　石川
3	当院でのフットケアの取り組みと現状	腎クリニック　新福
4	嚥下困難患者の経口摂取を試みて	病棟　有田
5	継続的な栄養指導介入を行った一症例を通して、 今後の栄養指導を考える	栄養科　家村
6	これまでの働き方とこれからの働き方 ～現状分析と「働き方改革」への対応について～	経営管理室　藤間
7	当院の要介護認定者の推移	地域連携室　脇田

7　院内研修開催実績

(1)法定研修

年月日	テーマ	講 師	主 催	参加人数
2019年9月24日	医薬品の安全な使用について	上山病院　薬剤科　寺師	医療安全委員会	121名
	薬局で起こったインシデント事例	上山病院　薬剤科　永松		
2020年3月24日	透析医療における安全を考える	協和発酵キリン㈱　坂本様	医療安全委員会	172名
	記録とは「カルテ開示に耐えうる記録について」	うえやま腎クリニック　透析室　市之瀬		

(2)薬剤科勉強会

年月日	内　容	講　師	参加人数
2019年4月22日	ミルセラ注シリンジ 勉強会	中外製薬㈱	14名
2019年5月27日	ピートル顆粒 勉強会	キッセイ薬品㈱	16名
2019年6月3日	マリゼブ錠 勉強会	MSD㈱	13名
2019年6月24日	ネイリンカプセル100mg 勉強会	佐藤製薬㈱	17名
2019年7月1日	ファムビル錠・アメナリーフ錠　勉強会	マルホ㈱	15名
2019年7月29日	カナグル錠100mg・クレメジン速崩錠500mg　勉強会	田辺三菱製薬㈱	17名
2019年8月26日	ミヤBM　勉強会	ミヤリサン製薬㈱	15名
2019年9月2日	ロスーゼット配合錠LD/HD	バイエル薬品㈱	14名
2019年9月30日	サムスカOD錠　勉強会	大塚製薬㈱	17名
2019年10月7日	ジャディアンス錠　勉強会	ベーリンガーインゲルハイム㈱	16名
2019年10月28日	ビソノテープ2mg・4mg・8mg　勉強会	トーアエイヨー㈱	14名
2019年11月25日	エベレンゾ錠　勉強会	アステラス製薬㈱	16名
2019年12月2日	ヌーカラ皮下注用100mg　勉強会	グラクソ・スミスクライン㈱	14名
2019年12月23日	タリージェ錠　勉強会	第一三共㈱	17名
2020年1月27日	トルリシティ皮下注0.75mgアテオス　勉強会	大日本住友製薬㈱	13名
2020年2月3日	コララン錠　勉強会	小野薬品工業㈱	19名
2020年2月17日	ノベルジン錠25mg・50mg　勉強会	ノーベルファーマ㈱	15名
2020年3月2日	ミルセラ注シリンジ・診療報酬改定　勉強会	中外製薬㈱	18名
2020年3月30日	クレメジン速崩錠500mg・カナグル錠100mg　勉強会	田辺三菱製薬㈱	14名

(3)看護部研修

年月日	内　容	講　師	参加人数
2019年6月5日	透析アミロイド症について	扶桑薬品工業㈱　菅毛様	23名
2019年7月9日	看護部教育研修　患者情報収集について ～患者・家族のニーズをとらえる情報収集の方法～	上山病院　看護部　三原	13名
2019年7月23日	看護部教育研修　患者情報収集について 看護問題の考え方、看護目標の設定、看護計画の立案	上山病院　看護部　三原	7名
2019年9月5日	臨床工学技士実習生勉強会　腹膜透析の基本	上山病院　透析室　泉	8名
2019年11月6日	人工血管 ゴアアキュシールバスキュラーグラフトについて	日本ゴア合同会社　竹森様	26名
2020年2月18日	岩下医師による人工血管学習会	上山病院　外科部長　岩下	35名
2020年3月 25・26日・30日	クリニカルラダー説明会	上山病院　看護部長　栗野	13名

(4)ビューティーコアサポートセミナー

年月日	テーマ	講 師	参加人数
2019年4月21日	食べて美しく ～あなたの食習慣に不要の原因が隠されている～	うえやま腎クリニック院長 上山 中原水産株式会社　中原晋司先生	23名
2019年5月26日	植物の恵み！ ～美の一滴は植物から～	うえやま腎クリニック院長 上山 ヴィーナスターオーガニクス 永仮洋文先生	7名
2019年6月16日	お酢のチカラ	うえやま腎クリニック院長 上山 坂元醸造株式会社　長野正信先生	16名
2019年7月21日	52歳でライフワークを見つけて ～私の分岐点は”魚醤”～	うえやま腎クリニック院長 上山 村主賢治先生	18名
2019年8月24日	発酵の原点たるお酒の深い話	うえやま腎クリニック院長 上山 本坊酒造㈱　草野辰朗先生	18名
2019年9月16日	ボディメイクの基礎	うえやま腎クリニック院長 上山 鈴木内科クリニック　鈴木功先生	20名
2019年10月27日	オイルの達人	うえやま腎クリニック院長 上山 有限会社アンティーヌ 高橋リエ先生	17名
2019年11月24日	これからのバイオエコノミー ～日本食と麹菌～	うえやま腎クリニック院長 上山 河内源一郎商店顧問 池上隆一先生	19名
2019年12月15日	温泉の極意	うえやま腎クリニック院長 上山 温泉ソムリエ協会師範 六三四先生	12名
2020年1月25日	桜島大根のチカラ	うえやま腎クリニック院長 上山 鹿児島大学講師　加治屋勝子先生	20名

(5)事務担当者会議管理職研修

年月日	内　容	参加人数
2019年4月24日	月刊誌『致知』2019年3月号「枠を破る」についての意見交換	7名
2019年5月29日	月刊誌『致知』2019年4月号「運と徳」についての意見交換	6名
2019年6月26日	月刊誌『致知』2019年6月号「看却下」についての意見交換	6名
2019年7月24日	月刊誌『致知』2019年8月号「後世に伝えたいこと」についての意見交換	4名
2019年8月30日	月刊誌『致知』2019年7月号「命は吾より作す」についての意見交換	8名
2019年9月25日	月刊誌『致知』2019年9月号「読書尚友」についての意見交換	4名
2019年10月23日	月刊誌『致知』2019年10月号「情熱にまさる能力なし」についての意見交換	9名
2019年11月27日	月刊誌『致知』2019年11月号「語らざれば愁いなきに似たり」についての意見交換	6名
2019年12月25日	月刊誌『致知』2019年12月号「精進する」についての意見交換	5名
2020年1月29日	月刊誌『致知』2020年2月号「心に残る言葉」についての意見交換	5名
2020年3月26日	月刊誌『致知』2020年4月号「命ある限り歩き続ける」についての意見交換	6名

(6)一般職研修

年月日	内　容	講師	参加人数
2019年4月17･18日	消費税増税が与える影響	経営管理室　藤間	27名
2019年5月15･16日	医療用具のパッケージを読み解く	㈱ユーエスケイ企画　谷	30名
2019年6月19･20日	介護保険について知ろう	地域連携室　脇田	29名
2019年7月17･18日	形成外科ってなに？	医事課　波江野	23名
2019年8月21･22日	コミュニケーション向上のポイント	経営管理部　脇	33名
2019年9月18･19日	「報・連・相」徹底術	施設課　森尾	30名
2019年10月16･17日	情報セキュリティについて	経営管理室　山岡	30名
2019年11月27･28日	第61回全日本病院協会in愛知　参加報告	事務部　石井	18名
2019年12月18･19日	鹿児島県透析医会高齢透析患者介護関連実態調査	高齢者福祉複合施設光陽　有園	36名
2020年1月15･16日	査定減・返戻事例から見えること	医事課　石窪	30名
2020年2月19･20日	ようこそビューティー・コア・サポートへ	事業課　馬場	25名
2020年3月18･19日	自分でできる車の点検・整備	施設課　寺園	39名

(7) 入職者研修

年月日	内　容	講　師	参加人数
2019年4月9･10日	新規入職者研修	各部署・委員会	3名
2019年7月23･24日	中途入職者研修	各部署・委員会	2名
2019年10月2･29日	中途入職者研修	各部署・委員会	6名
2019年12月10日	中途入職者研修	各部署・委員会	7名
2020年2月6･18日	中途入職者研修	各部署・委員会	9名

(8) その他の研修

年月日	内　容	講師	参加人数
2019年5月16日	体験からの学び	久木田　益満　市島 東　永﨑　川畑	67名
2019年6月7・14・27日・7月11日	安全運転研修	上山病院　施設課　中川	28名
2019年8月2日	言葉の定義、「きく」の種類と基本的なスキル	事務長　西	4名
2019年9月18日	財務の基礎知識、値引きと利益の関係、 企業の魅力を引き出す	事務長　西	8名
2019年10月4日	時間の使い方、セルフマネジメント、ＳＷＯＴ分析	事務長　西	6名
2019年10月23日	メンバーの心を動かす	上山病院　施設課　中川	10名
2019年11月1日	お金のブロックパズル実践編	事務長　西	8名

8　1年間の主な出来事

4月1日	開院記念式
4月6～7日	霧島山荘　新人研修
4月9～10日	新入職員研修
6月28～30日	日本透析医学会
7月13日	第7回理事長杯ボウリング大会
7月11日	理事長講話
7月25日	鹿児島県透析医会総会・学術講演会
8月3日	九州CAPD検討会
8月6日	子供参観日
8月10日	ターザン会
9月2日	日本透析医会災害時情報伝達訓練
9月12日	第18回院内研究発表会
11月24日	介護相談会『介護・福祉の茶のん会ｉｎ上山病院』
12月1日	電子カルテ導入
12月7日	腎愛会・ユーエスケイ企画忘年会
12月28日	仕事納め式
1月6日	年始式
1月30日	葉月会（職員互助会）総会

開院記念式

新入職員研修

年始式

9　医療機器

ＣＴ

超音波診断装置

透析監視装置

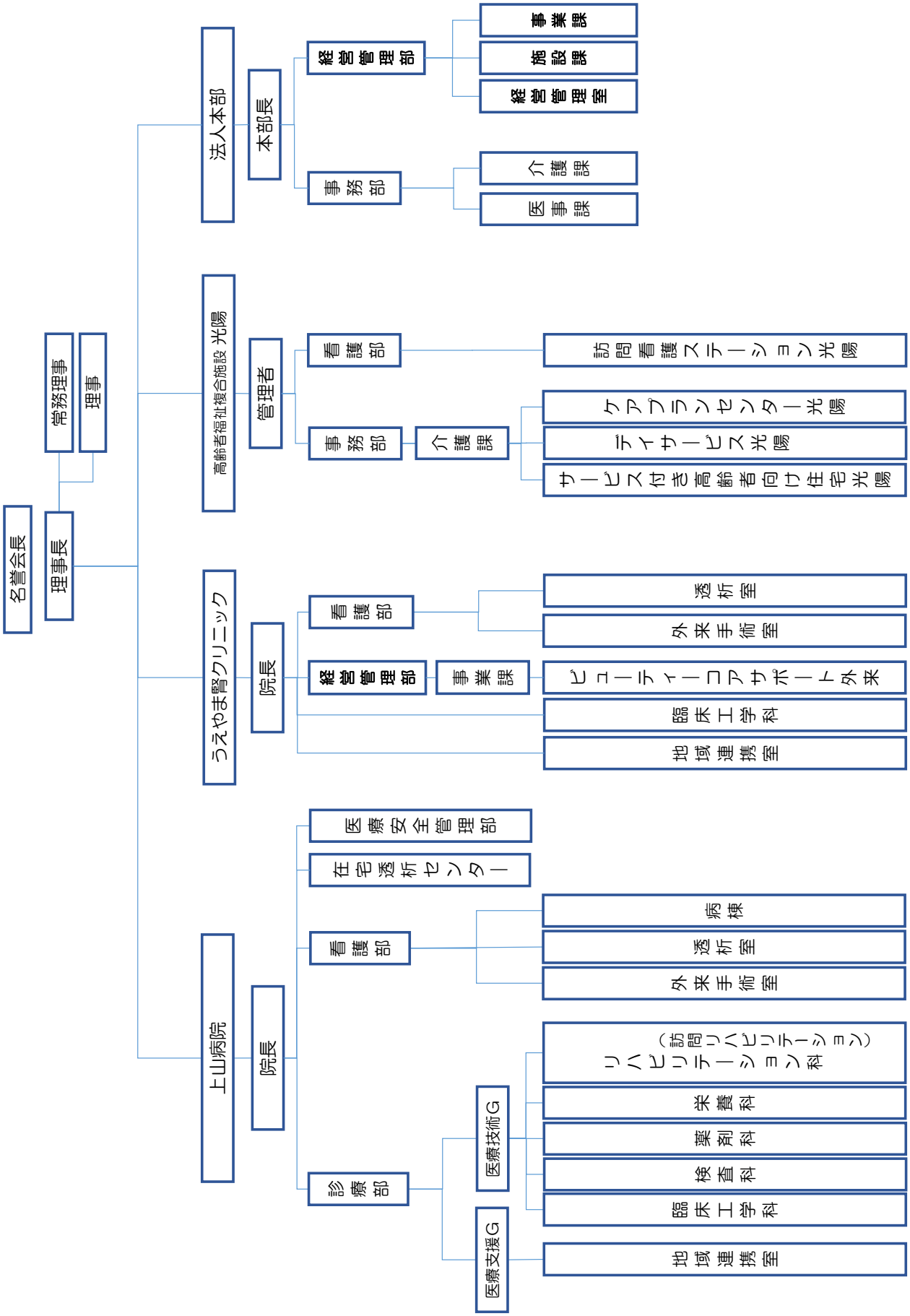
【その他】

電気ﾒｽ
手術台
患者監視装置ﾍﾞｯﾄﾞｻｲﾄﾞﾓﾆﾀｰ
ｾﾝﾄﾗﾙﾓﾆﾀｰ
ﾊﾟﾙｽｵｷｼﾒｰﾀ
聴力計ｵｰｼﾞｵﾒｰﾀ
ﾏｲｸﾛｽﾓｰｶｰﾗｲｻﾞｰ
長時間用心電用ﾃﾞｰﾀｰﾃﾞｺｰﾀﾞ
顕微鏡
心電計
血圧脈波検査装置
超音波診断装置
（腹部･心臓･頚部･血管）
吸引機
自動血球計数測定装置

生化学自動分析装置
ｴﾝﾄﾞﾄｷｼﾝ測定装置
純水装置（ｵﾙｶﾞﾉﾋﾟｭｱﾗｲﾄ）
電解質分析装置
逆浸透水処理装置
多人数用透析液供給装置
多人数用透析監視装置
個人用透析装置
個人用逆浸透水処理装置
自動溶解装置
透析液ｸﾘｰﾝ化ﾕﾆｯﾄ
浸透圧分析装置
血圧監視装置
患者監視装置
滅菌ﾊﾟｯｸｼｰﾗｰ

高圧蒸気滅菌器ｻｰﾎﾞｸﾚｰﾌﾞ
ｶﾞｽ滅菌器ｹｽﾐｸﾚｰﾌﾞ
超音波式ﾈﾌﾞﾗｲｻﾞｰ
除細動器
ＡＥＤ
錠剤自動供給装置
X線一般撮影装置
X線CT装置
CR装置
電子ﾎﾟｹｯﾄ線量計
X線ﾃﾚﾋﾞ装置
凝固測定用経過時間ﾀｲﾏｰ
外科用Cｱｰﾑ

10 組織図

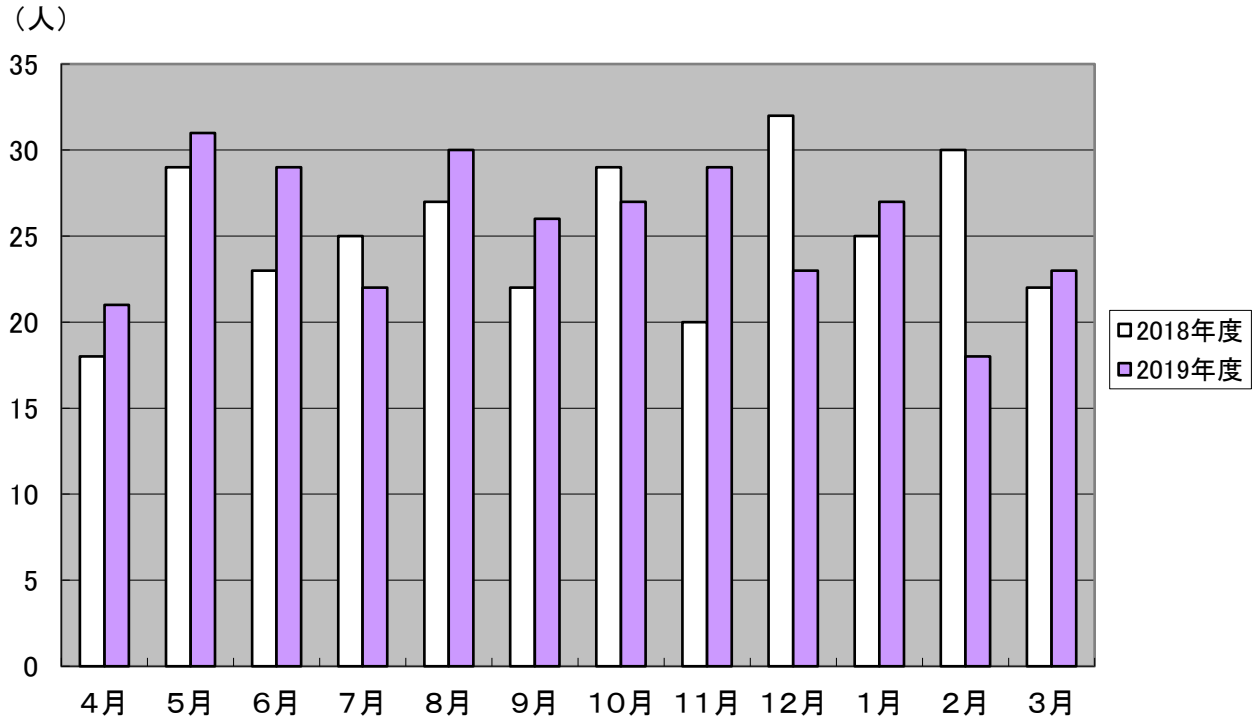

名誉会長
理事長
常務理事
理事
法人本部
本部長
経営管理部
事業課
施設課
経営管理室
事務部
介護課
医事課
高齢者福祉複合施設 光陽
管理者
看護部
訪問看護ステーション光陽
事務部
介護課
ケアプランセンター光陽
デイサービス光陽
サービス付き高齢者向け住宅光陽
うえやま腎クリニック
院長
看護部
透析室
外来手術室
経営管理部
事業課
ビューティーコアサポート外来
臨床工学科
地域連携室
上山病院
院長
医療安全管理部
在宅透析センター
看護部
病棟
透析室
外来手術室
診療部
医療技術G
リハビリテーション科（訪問リハビリテーション）
栄養科
薬剤科
検査科
臨床工学科
医療支援G
地域連携室

11　委員会活動

名称	内　訳	開催頻度	人数	委員会の活動内容
医療安全管理委員会		年 2 回	7 名	医療安全管理のための統括調整機能を果たす委員会。 医療安全管理のための組織に包括される各委員会の代表者と医療安全管理者から構成される。
第1委員会	医療安全	月 1 回	30 名	ヒヤリハット報告書の収集分析等を通して、医療事故の防止、安全かつ適切な医療の供給体制の確立を目的として活動する。
	医療事故		31 名	医療事故・医事紛争の予防対策の検討や医療事故発生時の原因究明・改善策の提案など、医事紛争を解決するための活動を行う。
	倫　理	隔月 1 回	9 名	倫理的諸問題を解決するための活動を行う。
第2委員会	感染対策	月 1 回	32 名	院内感染の予防対策や知識の啓蒙を図り、感染の発生防止体制の確立を目的として活動する。
	輸血療法			血液製剤の安全供給かつ適切な使用の実践が行われるための活動を行う。
第3委員会	安全衛生管理	月 1 回	27 名	職場の安全管理や職員の衛生管理を行う。
	医療ガス			医療用ガス及びその供給設備についての安全管理を行う。
第4委員会	褥瘡対策	月 1 回	26 名	入院患者様の褥瘡発生を防止し、発生した場合に適切な治療を行うための活動を行う。
	給　食			給食業務に関する連絡調整を行うと同時に、おいしい食事提供のために検食を行い、栄養士に意見を伝え、改善に努めることを目的とする。
第5委員会	薬事委員会	月 1 回	9 名	医薬品の適正使用及び管理や新規医薬品の採用の決定を行う。
第6委員会	透析機器安全管理	月 1 回	9 名	透析液の水質管理を行い、安全な透析を行うための活動を行う。
第7委員会	教　育	月 1 回	30 名	職員に対する院内教育についての企画・総括・調整を行います。また、年に1回、院内研究発表会を開催する。
	接遇マナー			外部講師による指導も受けながら、接遇向上のための活動を行う。委員は、学んだことを職場に持ち帰って、職員に実践してもらう役目を担う。

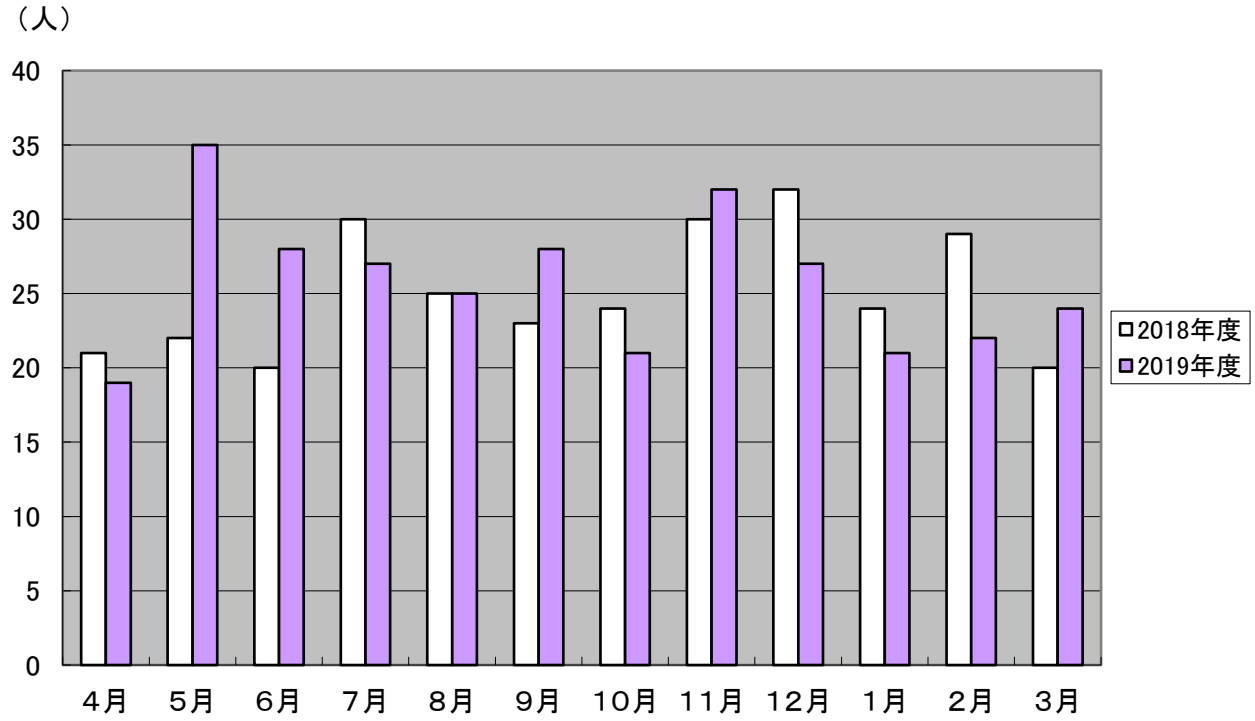
12　統計　(1)患者データ【上山病院】

①新入院患者数



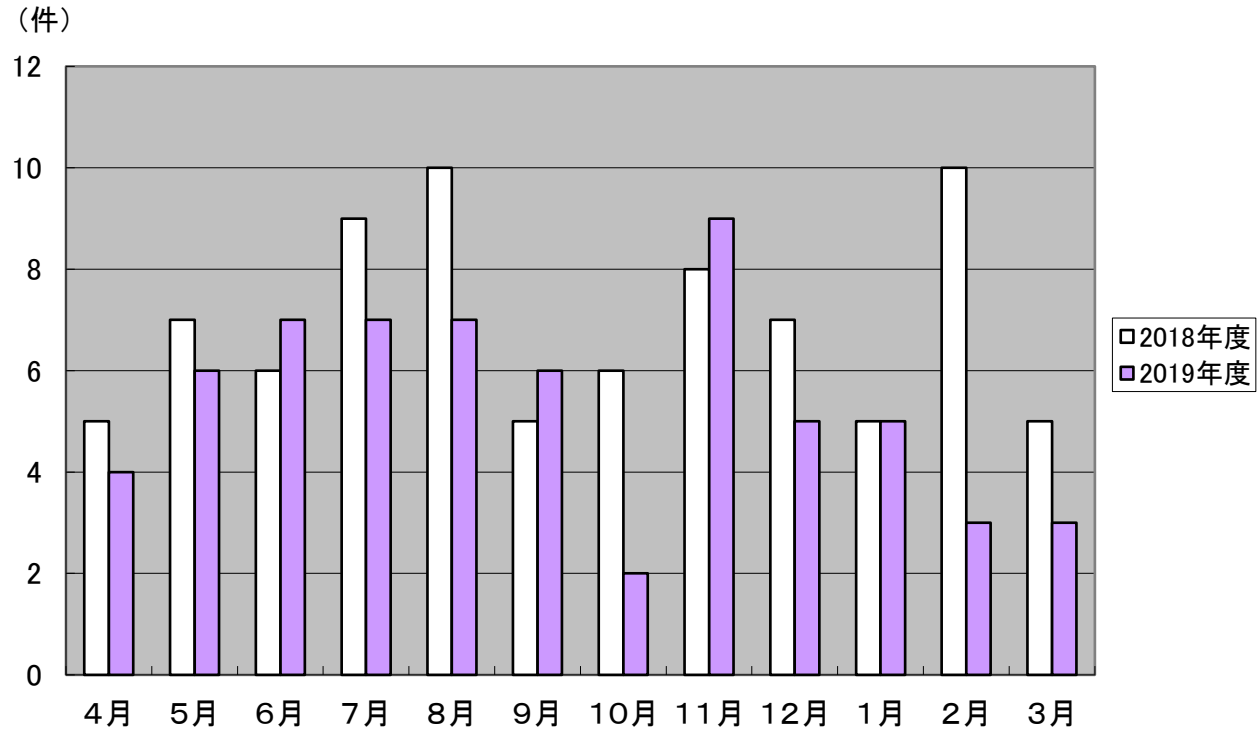
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	18	29	23	25	27	22	29	20	32	25	30	22	302
2019年度	21	31	29	22	30	26	27	29	23	27	18	23	306

②退院患者数



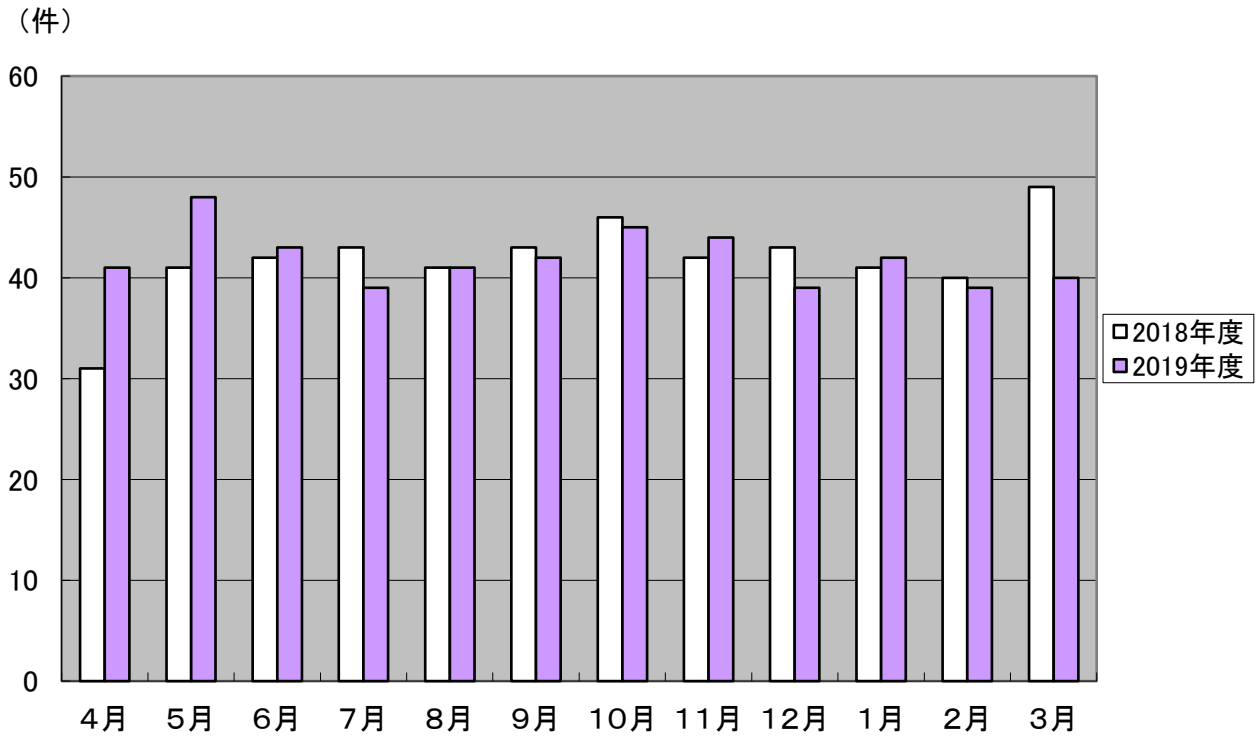
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	21	22	20	30	25	23	24	30	32	24	29	20	300
2019年度	19	35	28	27	25	28	21	32	27	21	22	24	309

③ 入院患者件数(一般)



一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	5	7	6	9	10	5	6	8	7	5	10	5	83
2019年度	4	6	7	7	7	6	2	9	5	5	3	3	64

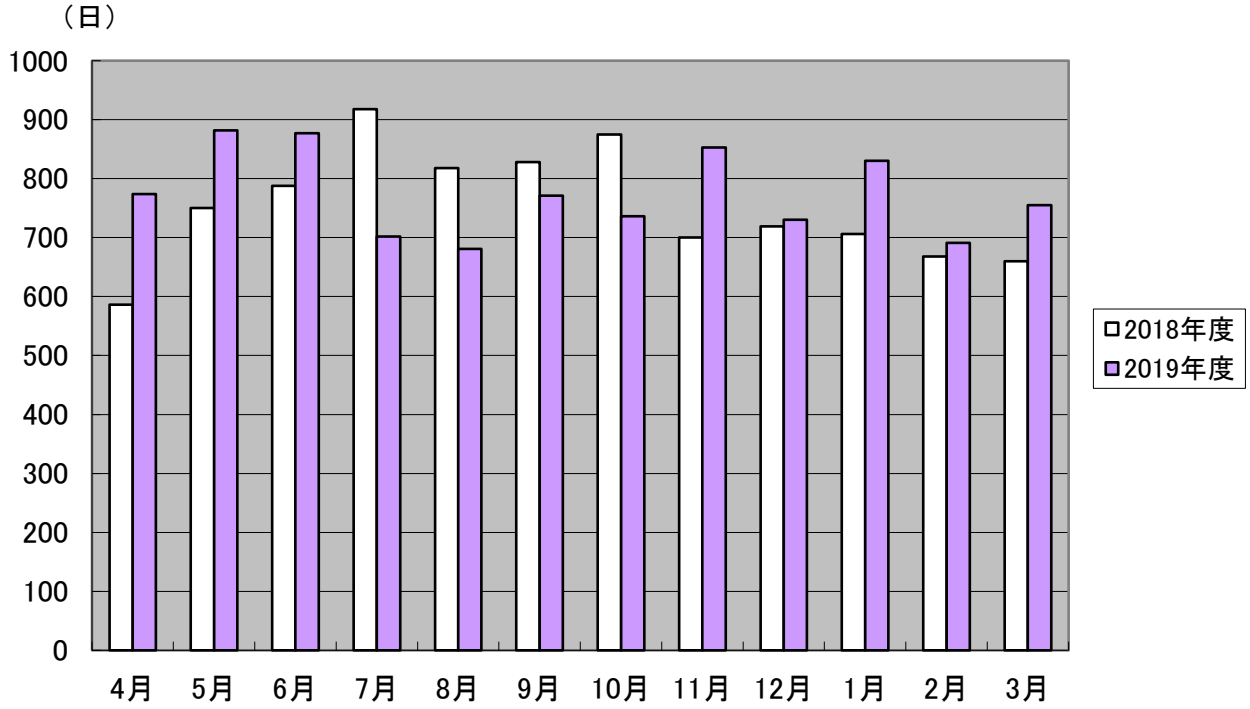
④ 入院患者件数(透析)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	31	41	42	43	41	43	46	42	43	41	40	49	502
2019年度	41	48	43	39	41	42	45	44	39	42	39	40	503

【上山病院】

⑤入院日数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2018年度	586	750	788	918	818	828	875	700	719	706	668	660	751.3
2019年度	774	882	877	702	681	771	736	853	730	830	691	755	773.5

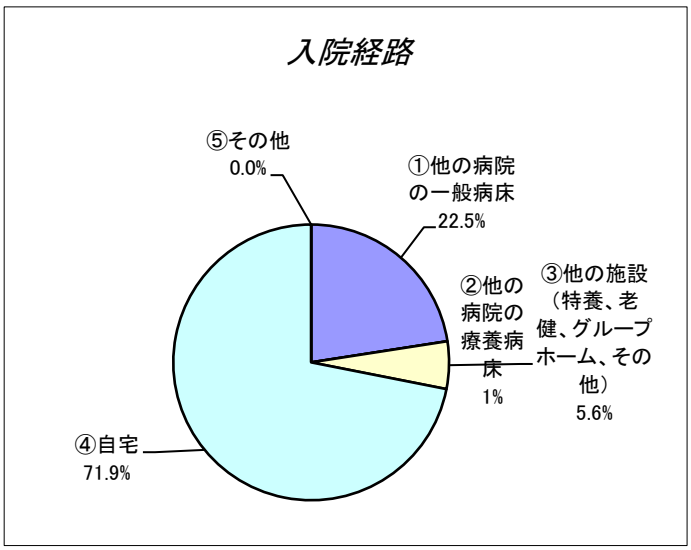
⑥入・退院患者経路

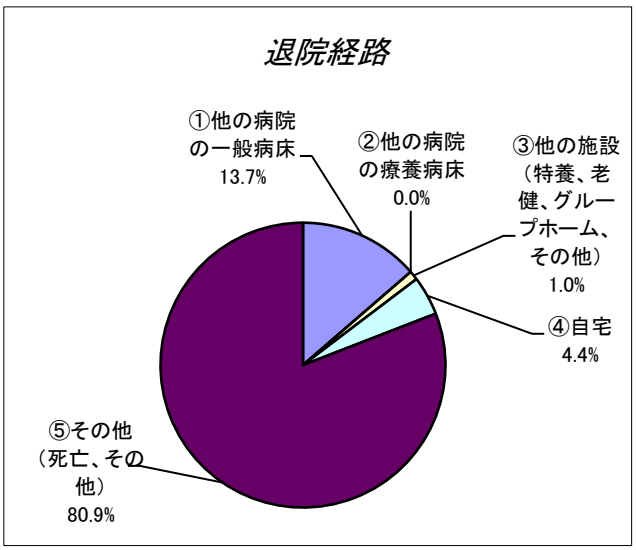
１．入院経路（入院前の居場所）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	5	7	4	5	8	2	5	6	4	9	7	7	69
②他の病院の療養病床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③他の施設 （特養、老健、グループホーム、その他）	1	2	0	3	1	3	2	1	0	4	0	0	17
④自宅	15	22	25	14	21	21	20	22	19	14	11	16	220
⑤その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計	21	31	29	22	30	26	27	29	23	27	18	23	306

２．退院経路（退院後の行き先）

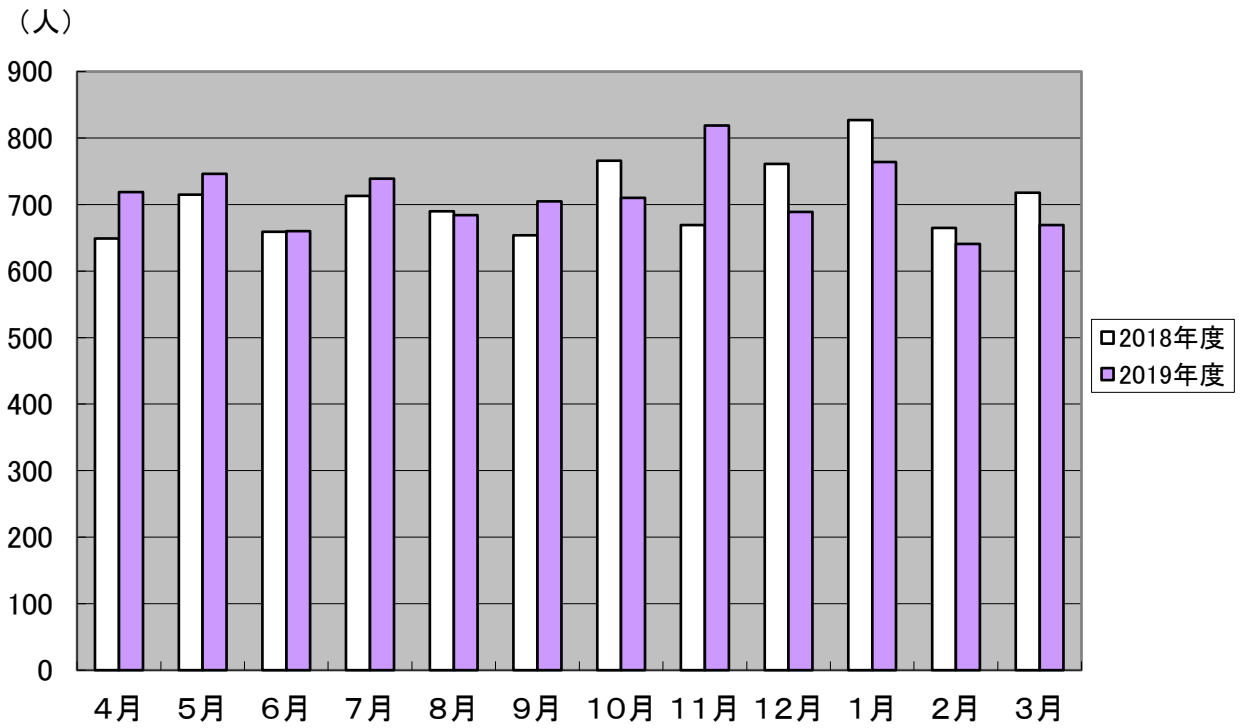
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	1	5	3	4	3	2	2	7	5	4	4	0	40
②他の病院の療養病床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③他の施設 （特養、老健、グループホーム、その他）	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
④自宅	0	2	2	0	0	1	4	1	0	1	2	0	13
⑤その他（死亡、その他）	16	25	23	20	22	25	13	21	22	14	14	22	237
合　　計	1	1	0	3	0	0	2	3	0	2	2	2	293





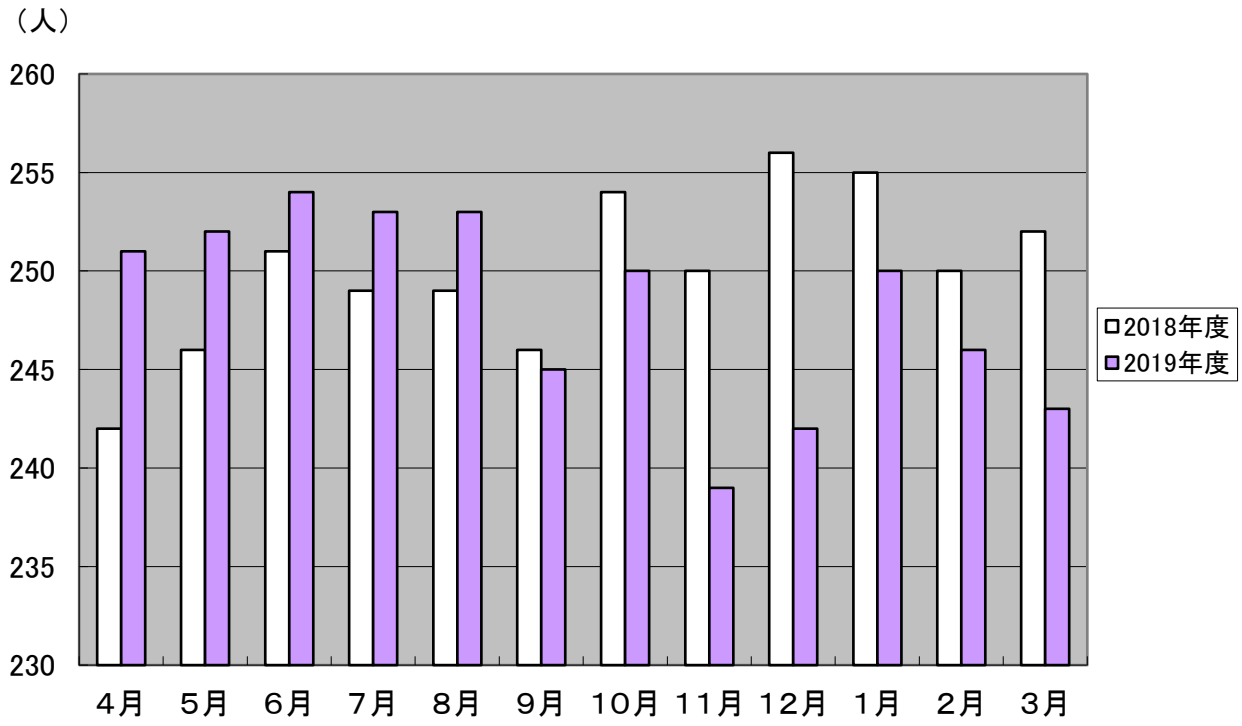
【上山病院】

⑦ 外来患者数(一般)



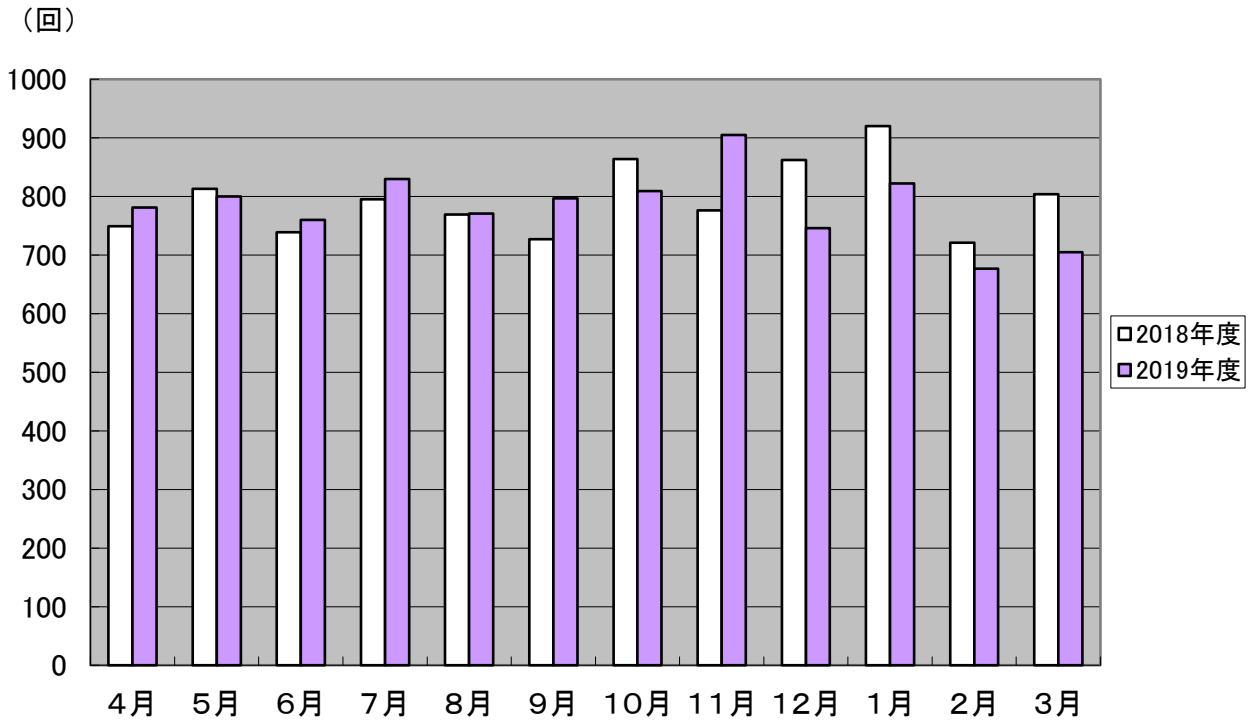
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	649	715	659	713	690	654	766	669	761	827	665	718	8,486
2019年度	719	746	660	739	684	705	710	819	689	764	641	669	8,545

⑧ 外来患者数(透析)



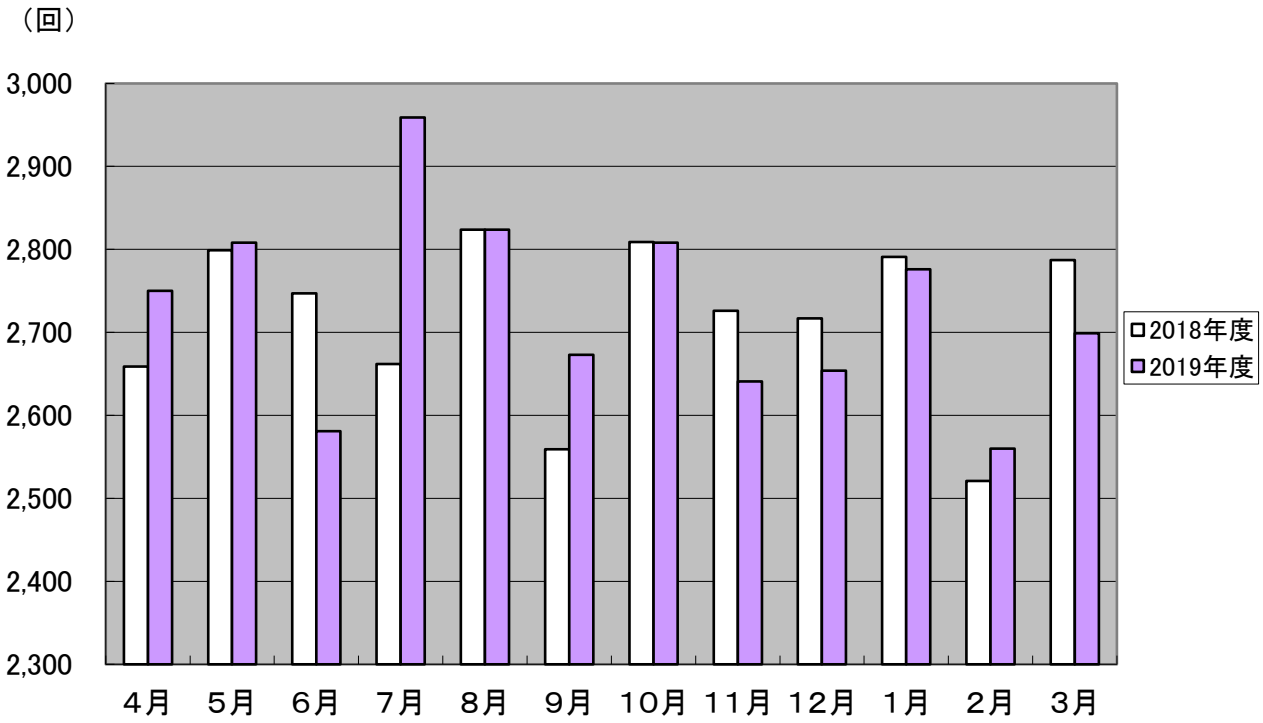
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	242	246	251	249	249	246	254	250	256	255	250	252	3,000
2019年度	251	252	254	253	253	245	250	239	242	250	246	243	2,978

⑨外来診療回数(一般)



一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	749	813	739	795	769	727	864	776	862	920	721	804	9,539
2019年度	781	800	760	830	771	797	809	905	746	822	677	705	9,403

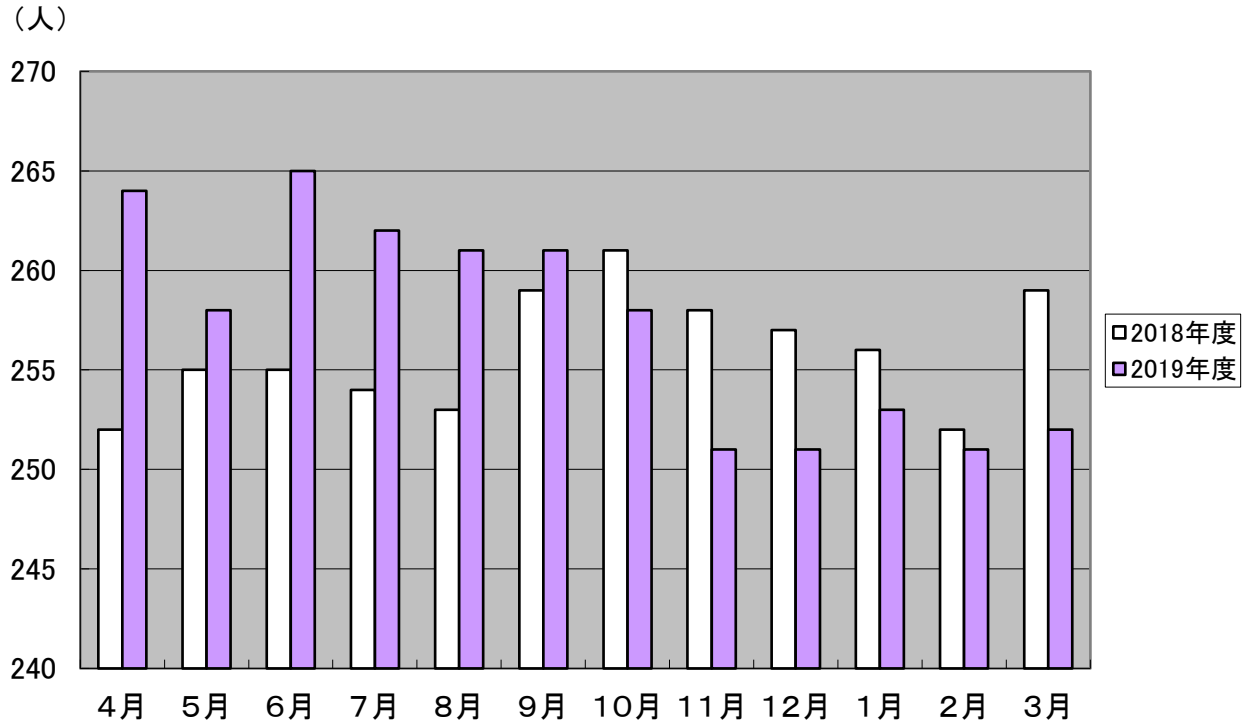
⑩外来診療回数(透析)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	2,659	2,799	2,747	2,662	2,824	2,559	2,809	2,726	2,717	2,791	2,521	2,787	32,601
2019年度	2,750	2,808	2,581	2,959	2,824	2,673	2,808	2,641	2,654	2,776	2,560	2,699	32,733

【上山病院】

⑪維持透析患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	252	255	255	254	253	259	261	258	257	256	252	259	3,071
2019年度	264	258	265	262	261	261	258	251	251	253	251	252	3,087

⑫　禁煙外来

	2018年度	2019年度
新規受診者数	9	7
成功者数	2	3

※これまでの総数143名受診中49名成功

⑬ 健診件数

2019年度	特定健診		学童腎検	労災二次健診	職場健診	肝炎	前立腺
	国保	社保					
４月	8				32		
５月	7		3		7	1	
６月	8	2	4		31		1
７月	12	3			15	1	
８月	3	2			4	2	
９月	9	4			4	6	
１０月	3			1	25	1	
１１月	9	1		1	8	1	
１２月	9				1	2	
１月	3				4	1	
２月	7				5	2	
３月	6	1			7		
小計	84	13	7	2	143	17	1
合計	97						

【上山病院】

⑭　臨床検査データ

2019年度検体数

血液検査件数

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 合 計
AST	572	452	556	472	457	472	587	466	421	442	457	470	5824
ALT	572	453	555	472	457	472	587	465	421	442	457	470	5823
ALP	436	345	423	350	350	343	454	348	332	327	337	341	4386
GGT	493	391	497	410	397	406	517	397	361	382	383	401	5035
LDH	434	342	422	345	343	341	455	354	340	334	350	342	4402
TG	538	418	511	428	408	435	573	453	399	427	414	442	5446
CRP	67	98	110	94	99	101	91	73	68	78	60	72	1011
HDL-C	538	417	510	427	408	435	573	453	399	427	414	442	5443
BUN	797	812	803	829	819	848	835	840	731	758	755	793	9620
CRE	948	843	920	865	837	868	973	873	749	770	763	814	10223
UA	799	811	810	829	812	840	830	832	736	751	742	788	9580
Na	778	805	792	806	789	827	804	811	711	729	738	774	9364
K	787	813	799	811	797	830	810	817	720	738	747	783	9452
CL	778	805	792	806	789	827	804	811	711	729	738	774	9364
Ca	739	759	749	767	758	777	772	780	681	684	711	743	8920
IP	733	753	749	760	751	770	752	758	665	673	683	719	8766
Fe	300	303	314	320	315	320	317	308	307	308	296	311	3719
TP	527	444	494	444	442	443	548	434	414	423	425	445	5483
ALB	448	471	453	476	475	490	473	464	438	451	461	472	5572
A/G比	418	437	425	442	440	441	436	429	412	421	424	440	5165
T-BiL	15	12	27	18	17	10	10	13	14	18	17	13	184
LDL-C	538	417	510	426	408	435	573	451	398	426	414	441	5437
Glu	279	182	269	181	155	182	292	187	155	180	149	199	2410
T-CHO	538	419	510	427	408	436	577	454	398	428	415	441	5451
Zn						1			212	2	3	4	222
T-SAT	39	111	89	65	44	48	42	107	86	61	46	38	776
HbA1c (NGS)	101	123	122	113	103	124	105	113	102	127	94	136	1363
FER	193	76	111	197	67	53	188	59	99	183	63	54	1343
補正Ca	364	389	374	399	393	386	381	380	364	367	358	378	4533
nonHDL-C									398	427	414	441	1680
GA(%)	176	138	118	82	108	81	136	81	106	90	108	84	1308
血液一般	958	885	974	888	865	897	999	873	799	837	824	875	10674
uCRE	145	159	155	171	142	173	160	153	135	145	143	156	1837
CCR-24H	2	2	4			2	1	3				4	18
*WBC分類	34	27	20	34	39	37	50	26	26	33	27	25	378
尿Na	138	146	127	154	124	153	136	126	111	118	112	128	1573
食塩摂取量	138	146	127	154	124	153	136	126	111	118	112	128	1573
尿一般	553	443	505	472	420	439	510	445	395	419	382	445	5428
尿一般(早)	1	5	1	4	8	6	1	1	4	2		2	35
ABO	7	7	6	1	5	3	1	7	5	4	4	5	55
Rh(D)	8	7	6	1	5	3	1	7	5	4	4	5	56
Mg	2	5	30	320	396	612	199	90	460	88	85	588	2875
Cu						1			212	1			214
BUN (尿)	5	1	4	2	1	4	1	9	1	1	1	4	34
CRE (尿)	3	2	4	2	1	4	1	10	1	1	1	4	34
UIBC	39	111	89	65	45	48	42	107	86	62	46	38	778
尿蛋白	65	84	76	78	81	89	86	81	84	83	100	109	1016
尿蛋白	62	76	74	77	81	87	86	78	82	83	100	108	994
Cys-C	1	2	4	5	7	26	27	24	24	21	29	34	204

超音波検査件数

部位/件数	2019/4 ～2020/3
血　　管	1,492
頸　　部	309
腹　　部	483
心　　臓	434
合　　計	2,718

⑮　撮影データ

撮影件数（2019年度）

	ＣＴ	上山病院				うえやま腎クリニック		合計
		透析胸部（外来）	透析胸部（入院）	一般	アンギオＰＴＡ	透析胸部	一般	
4月	27	240	14	216	15	54	15	581
5月	37	231	21	102	18	54	0	463
6月	34	236	17	162	19	56	6	530
7月	46	246	16	90	13	55	0	466
8月	34	238	16	90	13	57	1	449
9月	42	239	16	77	2	58	0	434
10月	41	236	16	142	8	58	3	504
11月	39	235	26	75	6	59	1	441
12月	52	227	15	82	4	60	0	440
1月	41	227	14	104	9	58	0	453
2月	40	237	14	77	14	58	0	440
3月	42	37	1	78	11	0	0	169
合　計	475	2,629	186	1,295	132	627	26	5,370

ＣＴ撮影部位別件数（2019年度）

頭部ＣＴ	52
胸部ＣＴ	136
腹部ＣＴ	346
頸部ＣＴ	0
下肢ＣＴ	1
合　計	535

単純ＣＴ	460
造影ＣＴ	17

⑯ 上山病院 臨床工学科データ

2019年度 上山病院生菌検査結果一覧表

測定場所				測定日	検査結果 (CFU/mL)	管理基準 (CFU/mL)
項目	配管および装置名					
2F処理水	RO膜 ROタンク		RO膜直後	4月9日	0.0	100 未満
			ROタンク・RO配管	4月9日	0.2	
2F供給装置 後透析液 1系統	モルセップ(1-①系統)		ET-5E	4月9日	0.0	1未満
	モルセップ(1-②系統)		ET-5E	4月9日	0.0	
2F供給装置 後透析液 2系統	モルセップ(2-①系統)		ET-5E	4月9日	0.0	
	モルセップ(2-②系統)		ET-5E	4月9日	0.0	
2F透析監視装置(カプラ後透析液)	A-01	1	DCS-100NX	4月2日	0.0	
	A-02	2	DCS-27	4月2日	0.0	
	A-03	3	DCS-27	5月7日	0.0	
	A-04	4	DCS-27	5月7日	0.0	
	A-05	44	DCS-27	6月5日	0.0	
	A-06	49	DCS-27	6月5日	0.0	
	A-07	69	DCS-27	7月2日	0.0	
	A-08	8	DCS-100NX	7月2日	0.0	
	A-09	9	DCS-100NX	8月6日	0.0	
	A-10	10	DCS-100NX	8月6日	0.0	
	A-11	11	DCS-100NX	9月3日	0.0	
	A-12	12	DCS-100NX	9月3日	0.0	
	B-13	13	DCS-100NX	10月1日	0.0	
	B-14	14	DCS-27	10月1日	0.0	
	B-15	15	DCS-27	11月5日	0.0	
	B-16	16	DCS-27	11月5日	0.0	
	B-17	17	DCS-27	12月3日	0.0	
	B-18	18	DCS-100NX	12月3日	0.0	
	B-19	31	DCS-100NX	1月7日	0.0	
	B-20	24	DCS-100NX	1月7日	0.0	
	B-21	21	DCS-100NX	2月4日	0.0	
	B-22	22	DCS-100NX	2月4日	0.0	
	B-23	23	DCS-100NX	6月6日	0.0	
	B-24	20	DCS-27	6月6日	0.0	
	C-25	26	DCS-27	4月2日	0.0	
	C-26	35	DCS-27	4月2日	0.2	
	C-27	27	DCS-27	5月7日	0.0	
	C-28	28	DCS-27	5月7日	0.0	
	C-29	30	DCS-100NX	6月5日	0.0	
	C-30	29	DCS-100NX	6月5日	0.0	
	C-31	19	DCS-100NX	7月2日	0.0	
	C-32	32	DCS-100NX	8月6日	0.0	
	C-33	33	DCS-100NX	9月3日	0.0	
	C-34	34	DCS-27	10月1日	0.0	
	D-35	25	TR-3300M	11月5日	0.0	
	D-36	135	TR-3300M	12月3日	0.0	
	D-37	136	TR-3300M	1月7日	0.0	
	D-38	137	TR-3300M	2月4日	0.0	
	D-39	138	TR-3300M	3月3日	0.0	
	D-40	139	TR-3300M	6月24日	0.0	
	D-41	140	TR-3300M	6月24日	0.0	
	D-42	141	TR-3300M	5月7日	0.0	
	D-43	71	DCS-100NX	5月7日	0.0	

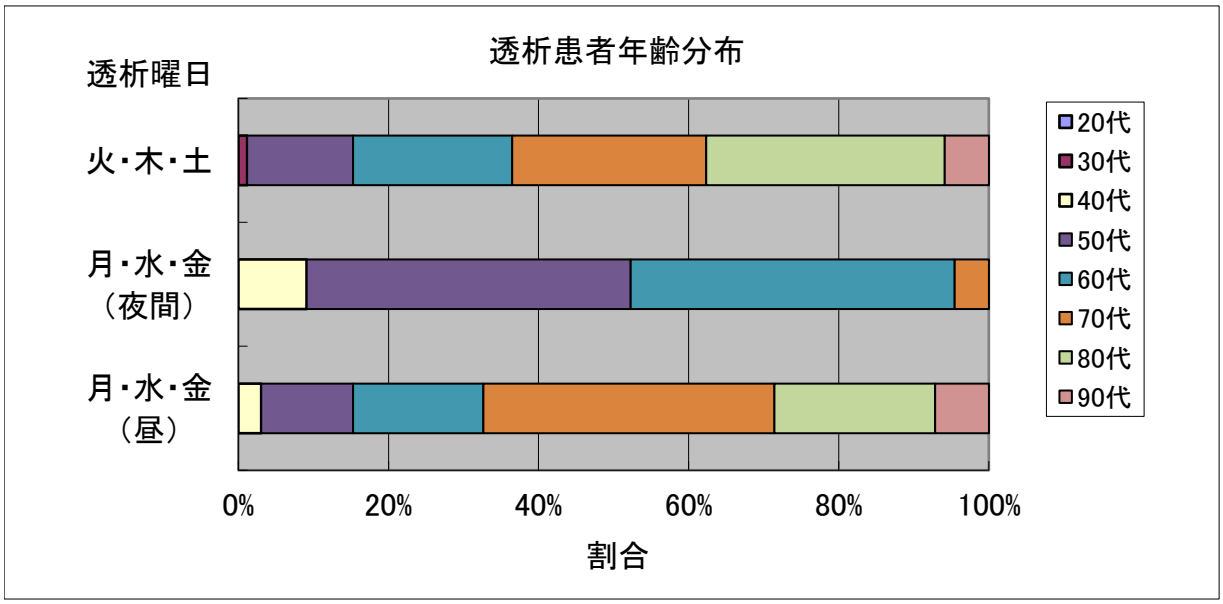
2019年度　上山病院生菌検査結果一覧表

測定場所				測定日	検査結果	管理基準
項目		配管および装置名			(CFU/mL)	(CFU/mL)
２Ｆ透析監視装置（カプラ後透析液）	D-44	5	TR-3300M	6月5日	0.0	1未満
	E-45	45	TR-3300M	6月24日	0.0	
	E-46	46	TR-3300M	7月2日	0.0	
	E-47	47	TR-3300M	7月2日	0.0	
	E-48	72	DCS-100NX	8月6日	0.0	
	E-49	6	TR-3300M	8月6日	0.0	
	E-50	50	TR-3300M	9月3日	0.0	
	E-51	51	TR-3300M	9月3日	0.0	
	E-52	52	TR-3300M	10月1日	0.0	
	E-53	68	TR-3300M	10月1日	0.0	
	E-54	77	TR-3300M	11月5日	0.0	
	F-55	144	TR-3300M	11月5日	0.0	
	F-56	145	TR-3300M	12月3日	0.0	
	F-57	146	TR-3300M	1月7日	0.0	
	F-58	147	TR-3300M	2月4日	0.0	
	F-59	148	TR-3300M	3月3日	0.0	
	F-60	149	TR-3300M	4月2日	0.0	
	F-61	150	TR-3300M	4月2日	0.0	
	F-62	151	TR-3300M	5月7日	0.0	
	F-63	152	TR-3300M	5月7日	0.0	
	F-64	153	TR-3300M	6月5日	0.0	
	G-65	70	DCS-27	6月5日	0.0	
	G-66	66	DCS-27	7月2日	0.0	
	G-67	67	DCS-27	7月2日	0.0	
	G-68	143	DCS-27	8月6日	0.0	
	G-69	54	DCS-27	9月3日	0.0	
	G-70	154	DCS-27	10月1日	0.0	
	G-71	48	DCS-27	11月5日	0.0	
	G-72	142	DCS-27	12月3日	0.0	
	G-73	73	DCS-27	1月7日	0.0	
	G-74	82	DCS-27	2月4日	0.0	
	G-75	130	DCS-27	3月3日	0.0	
3F処理水		TW-R		4月16日	0.0	100未満
3F供給装置後透析液		TCR-RF	RF後	4月16日	0.0	1未満
３Ｆ透析監視装置（カプラ後透析液）	参-01	76	DCS-27	4月13日	0.0	
	参-02	53	DCS-27	11月5日	0.0	
	参-03	78	DCS-27	5月7日	0.0	
	参-04	62	DCS-27	5月7日	0.0	
	参-05	55	DCS-27	6月5日	0.0	
	参-06	56	DCS-27	6月5日	0.0	
	参-07	74	DCS-27	7月2日	0.0	
	参-08	83	TR-3300M	7月2日	0.0	
	参-09	84	TR-3300M	8月6日	0.0	
	参-10	58	DCS-27	8月6日	0.0	
	参-11	59	DCS-27	9月3日	0.0	
	参-12	60	DCS-27	9月3日	0.0	
	参-13	131	DCS-27	10月1日	0.0	
	参-14	61	DCS-27	12月3日	0.0	
	参-15	63	DCS-27	12月3日	0.0	
	参-16	64	DCS-27	1月7日	0.0	
	参-17	65	DCS-27	2月4日	0.0	
	予備機	57	DCS-27	3月3日	0.0	
	ICU	個人用透析装置	DBB-100NX	4月16日	0.0	
	ICU	個人用RO装置	MH500CX	4月16日	2.0	100未満
在宅用透析装置		個人用透析装置	DBB-100NX	9月3日	0.0	1未満

【上山病院】

⑰　透析患者年齢分布（2020年3月末現在）　　**※3階透析室も含む**

	月・水・金（昼）	月・水・金（夜間）	火・木・土	合計
20代				0
30代			1	1
40代	3	4		7
50代	12	19	12	43
60代	17	19	18	54
70代	38	2	22	62
80代	21		27	48
90代	7		5	12
合計	98	44	85	227



⑱ 薬剤科　データ（2019 年度）

1. 処方箋数・調剤数

	院外処方箋	処方箋				注射箋	
		外来		入院		外来	入院
月	枚数	枚数	剤数	枚数	剤数	枚数	枚数
4	1,415	76	116	318	708	104	126
5	1,388	65	101	337	530	88	217
6	1,303	59	102	363	794	100	230
7	1,555	69	119	304	678	108	176
8	1,237	61	96	284	687	112	191
9	1,292	55	93	288	758	116	249
10	1,320	67	129	287	678	93	236
11	1,289	85	140	354	807	164	199
12	1,245	67	102	314	660	165	119
1	1,368	77	128	306	649	106	202
2	1,267	58	100	280	717	92	122
3	1,206	53	97	291	661	125	74
計	15,885	792	1,323	3,726	8,327	1,373	2,141
平均	1,324	66	110	311	694	114	178

2. 薬剤管理指導算定件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
指導件数	14	7	19	24	14	13	17	13	5	11	22	17	176

3. 持参薬鑑別件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
鑑別件数	21	35	42	25	28	26	35	29	20	29	24	22	336

⑲　給食状況　（2019 年度）

ア　患者給食数　（単位：食、%）

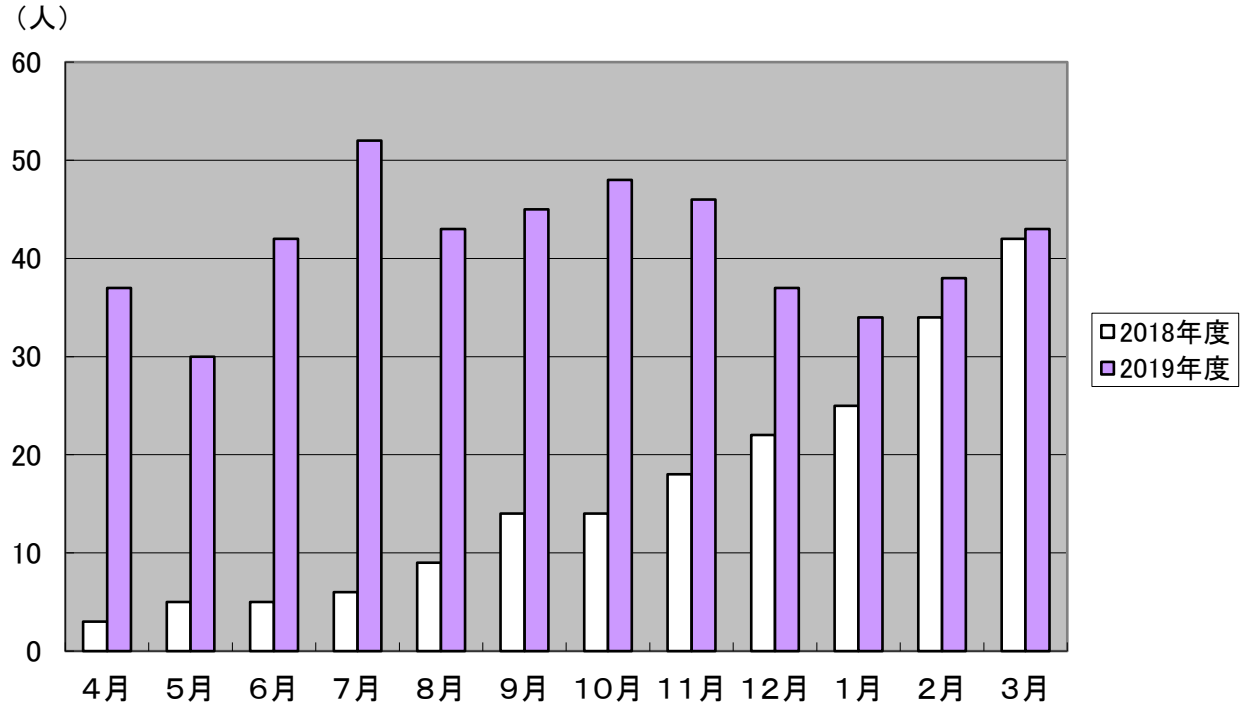
食種 ＼ 項目		延給食数	一日平均給食数	職種別構成比	延給食数 対前年度比
一般食	常食	1,937	5.3	7.4	1996.9
	流動食	0	0	0	0
特別食	腎臓病	22,344	61.2	85.6	91.4
	心臓病	358	1.0	1.4	76.8
	糖尿病	701	1.9	2.7	548
	経管栄養	772	2.1	3.0	114.7
合計		26,112	71.5	100	101.2

イ　個人栄養指導件数　（単位：件、%）

区分 ＼ 項目	件数	対前年度比
外来患者	115	100.0
入院患者	71	107.6
合計	186	102.8

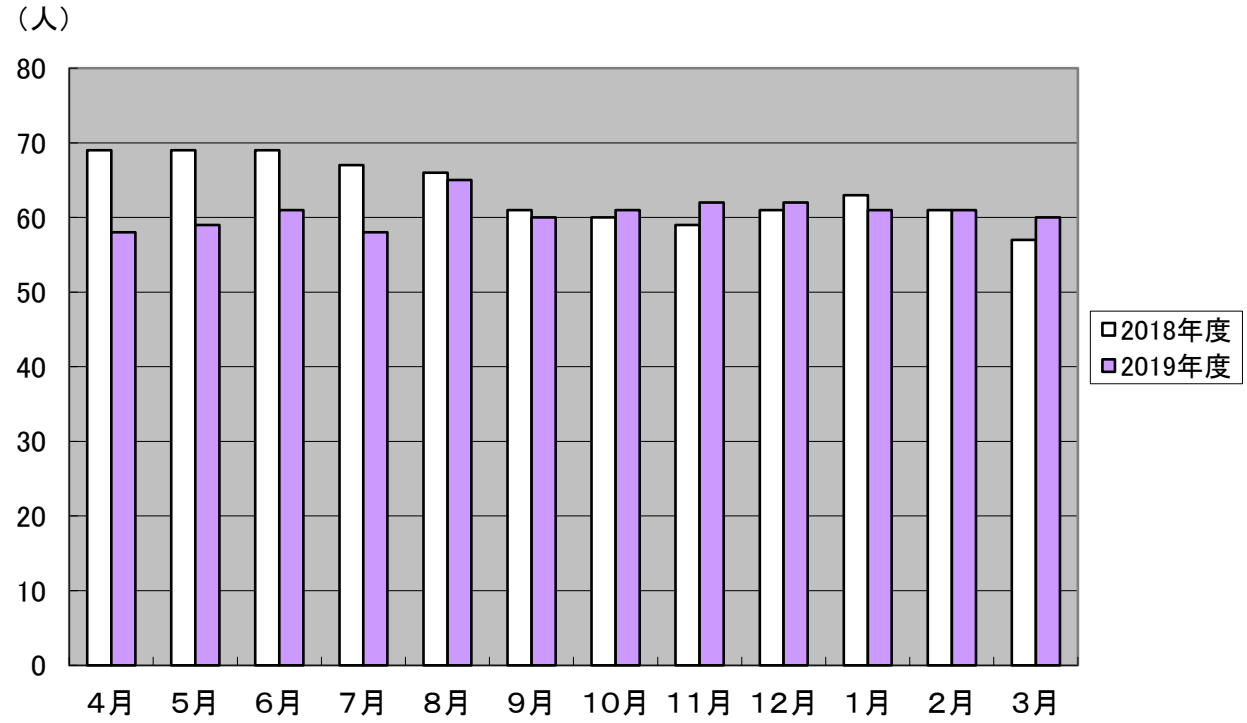
(2)患者データ 【うえやま腎クリニック】

① 外来患者数(一般)



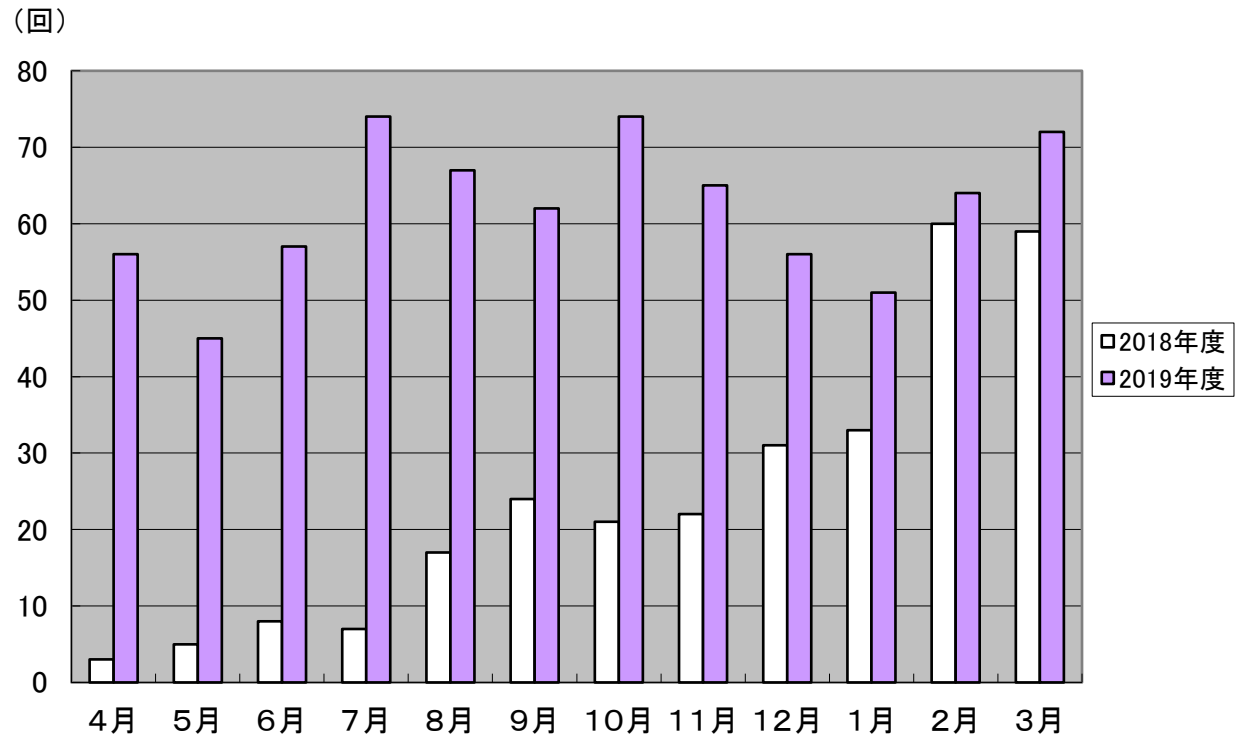
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	3	5	5	6	9	14	14	18	22	25	34	42	197
2019年度	37	30	42	52	43	45	48	46	37	34	38	43	495

② 外来患者数(透析)



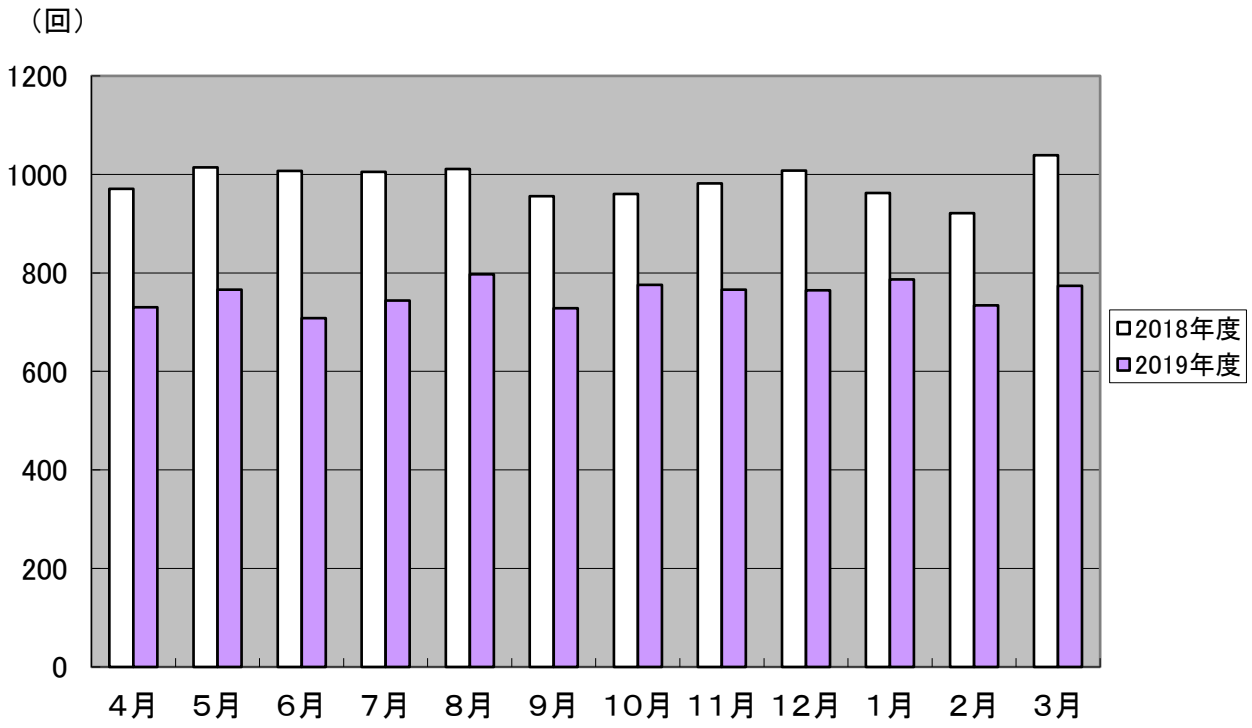
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	69	69	69	67	66	61	60	59	61	63	61	57	762
2019年度	58	59	61	58	65	60	61	62	62	61	61	60	728

③外来診療回数(一般)



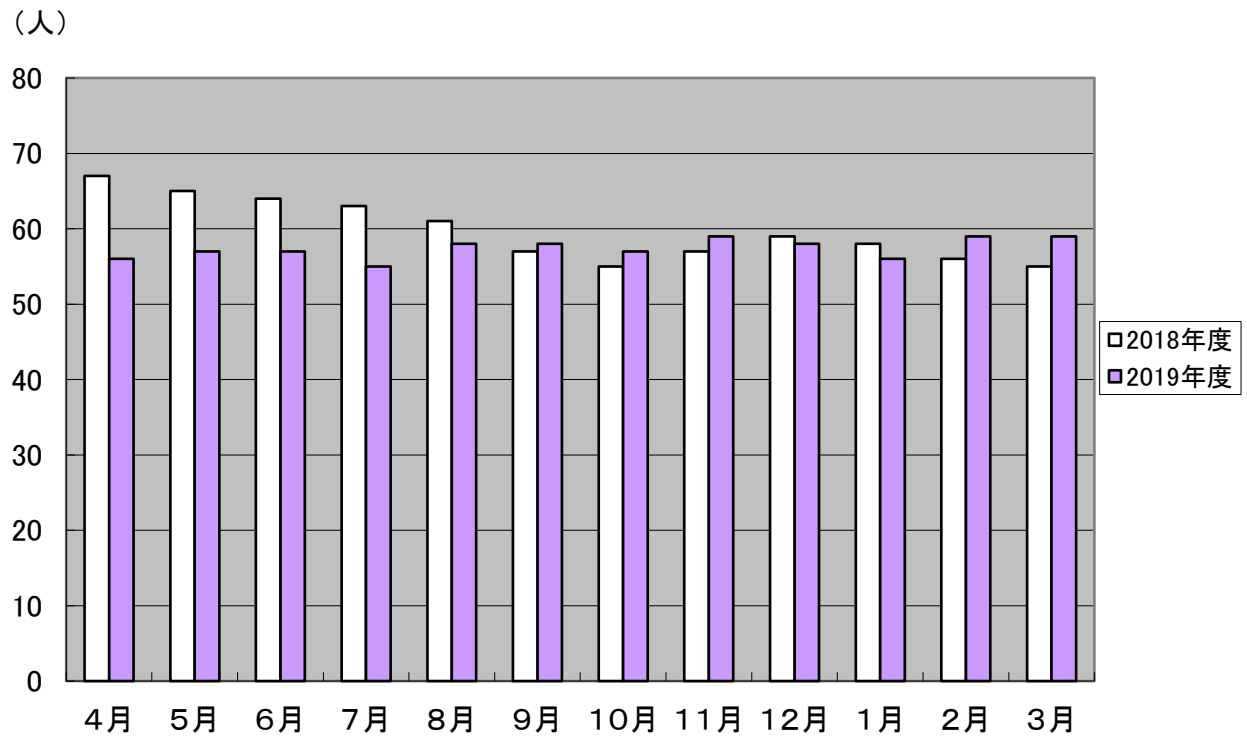
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	3	5	8	7	17	24	21	22	31	33	60	59	290
2019年度	56	45	57	74	67	62	74	65	56	51	64	72	743

④外来診療回数(透析)



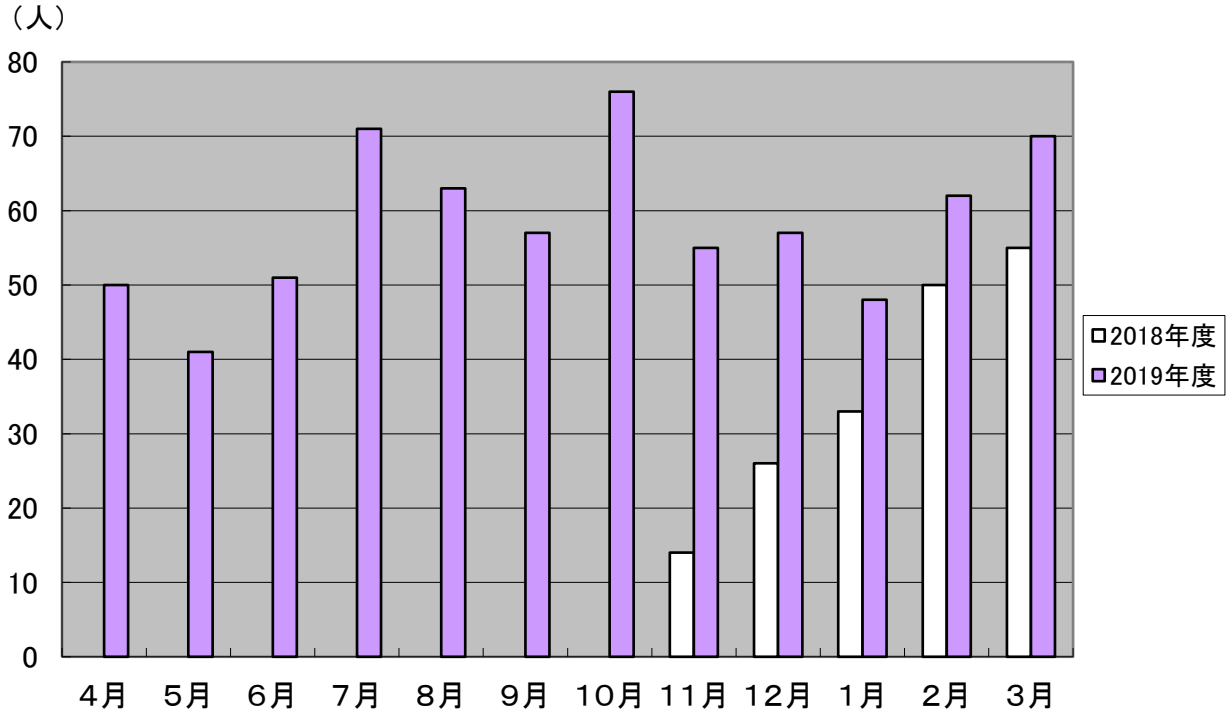
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	971	1014	1007	1005	1011	956	960	982	1008	962	921	1039	11,836
2019年度	730	766	708	744	797	728	776	766	765	787	734	774	9,075

⑤維持透析患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	67	65	64	63	61	57	55	57	59	58	56	55	717
2019年度	56	57	57	55	58	58	57	59	58	56	59	59	689

⑥ 外来患者数(形成)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度								14	26	33	50	55	178
2019年度	50	41	51	71	63	57	76	55	57	48	62	70	701

【うえやま腎クリニック】

⑦　うえやま腎クリニック　臨床工学科データ

2019年 うえやま腎クリニック生菌検査結果（一覧表）

項目	サンプリング場所 装置№.			機種名	測定日	測定値	備考
処理水 機械室内	原水			MIZ752C-H	4月11日	2.0cFu/ml	
	軟水			MIZ752C-H	4月11日	1.100	
	処理水			MIZ752C-H	4月15日	0.560	基準値100未満（cFu/ml）
	UF（ROタンク・配管）				4月15日	0.360	
透析液 機械室内	A剤自動溶解装置			A-HI	5月13日	0.000	
	B剤自動溶解装置			DRY-01	5月13日	0.000	
	多人数供給装置			DAB-50E	5月20日	0.000	
	モルセップ（A）			ET-5E	5月20日	0.760	再検　6/19　　0.0
	モルセップ（B）			ET-5E	6月3日	0.000	
患者監視装置（カプラ後）		Bed	装置No	機種名			
	Aライン	1	43	DCS-100NX	6月3日	0.000	
		2	36	DCS-100NX	6月17日	0.000	
		3	37	DCS-100NX	6月17日	0.000	
		4	38	DCS-100NX	7月8日	0.000	
		5	96（予備・パトランプなし）	DCS-27	7月8日	0.000	
		6	107	DCS-27	7月23日	0.000	
		7	122	DCS-100NX	7月23日	0.000	
		8	119	DCS-100NX	7月23日	0.000	
		9	42	DCS-100NX	8月5日	0.000	
		10	124	DCS-27	8月5日	0.000	
		11	103	DCS-27	8月19日	0.000	
		12	117	DCS-100NX	8月19日	0.000	
		13	116	DCS-100NX	8月19日	0.000	
		14	112	DCS-27	9月9日	0.000	
		15	120	DCS-100NX	9月9日	0.000	
		16	39	DCS-100NX	9月24日	0.000	
		17	115	DCS-100NX	9月24日	0.000	
		18	41	DCS-100NX	9月24日	0.000	
		19	125	DCS-100NX	10月7日	0.000	
		20	121	DCS-100NX	10月7日	0.000	
		21	109	DCS-27	10月21日	0.000	
		22	40	DCS-100NX	10月21日	0.000	
		23	114	DCS-100NX	10月21日	0.000	
		24	104	DCS-27	11月4日	0.000	
		25	118	DCS-100NX	11月4日	0.000	
		26	105	DCS-27	11月18日	0.000	
		27	113	DCS-27	11月18日	0.000	
	Bライン	28	132	DCS-27	11月18日	0.000	
		29	133	DCS-27	12月9日	0.000	
		30	123	DCS-100NX	12月9日	0.000	
		31	98	DCS-27	12月23日	0.000	
		32	110	DCS-27	12月23日	0.000	
		33	126	DCS-100NX	12月23日	0.000	
		34	127	DCS-27	1月6日	0.000	
		35	128	DCS-27	1月6日	0.000	
		36	129	DCS-27	1月6日	0.000	
		37	空き				
		38	106	DCS-27	2月3日	0.000	

(3)腎愛会2019年度　アンケート集計表

・入院患者様　退院時アンケート結果

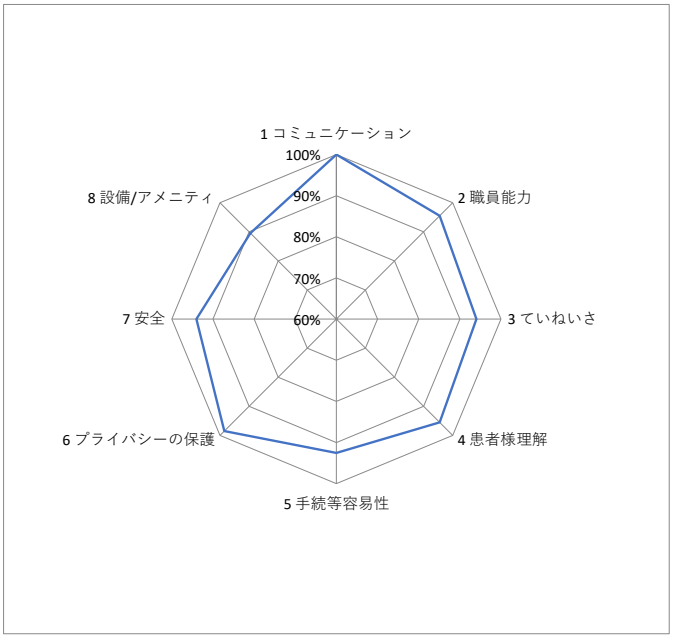
全体 307

回答者数＝ 67　　対象者数＝ 307　　S= 16

領域	No.	質問項目	選択肢		回答率	
1	コミュニケーション	当院職員は、わかりやすい言葉で説明しましたか	1. はい	67	100.0%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	0	0.0%	
			無回答	0	0.0%	100.0%
2	職員能力	当院職員は、必要な技術と知識を身につけていますか	1. はい	64	95.5%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	2	3.0%	
			無回答	1	1.5%	100.0%
3	ていねいさ	当院職員は、ていねいな対応をしていましたか	1. はい	63	94.0%	
			2. いいえ	1	1.5%	
			3. わからない	2	3.0%	
			無回答	1	1.5%	100.0%
4	患者様理解	当院職員は、患者の気持ちを理解しようとしましたか	1. はい	64	95.5%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	1	1.5%	
			無回答	2	3.0%	100.0%
5	手続等容易性	入院時のさまざまな手続きはうまくいきましたか	1. はい	62	92.5%	
			2. いいえ	2	3.0%	
			3. わからない	0	0.0%	
			無回答	3	4.5%	100.0%
6	プライバシーの保護	入院中のプライバシーの保護は適切でしたか	1. はい	66	98.5%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	0	0.0%	
			無回答	1	1.5%	100.0%
7	安全	入院中は安全に医療サービスが行われていると感じましたか	1. はい	63	94.0%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	3	4.5%	
			無回答	1	1.5%	100.0%
8	設備／アメニティ	入院中の環境は快適でしたか	1. はい	60	89.6%	
			2. いいえ	1	1.5%	
			3. わからない	4	6.0%	
			無回答	2	3.0%	100.0%

回答率＝ 21.8%

	項目	「①はい」の人数
1	コミュニケーション	100.0%
2	職員能力	95.5%
3	ていねいさ	94.0%
4	患者様理解	95.5%
5	手続等容易性	92.5%
6	プライバシーの保護	98.5%
7	安全	94.0%
8	設備/アメニティ	89.6%



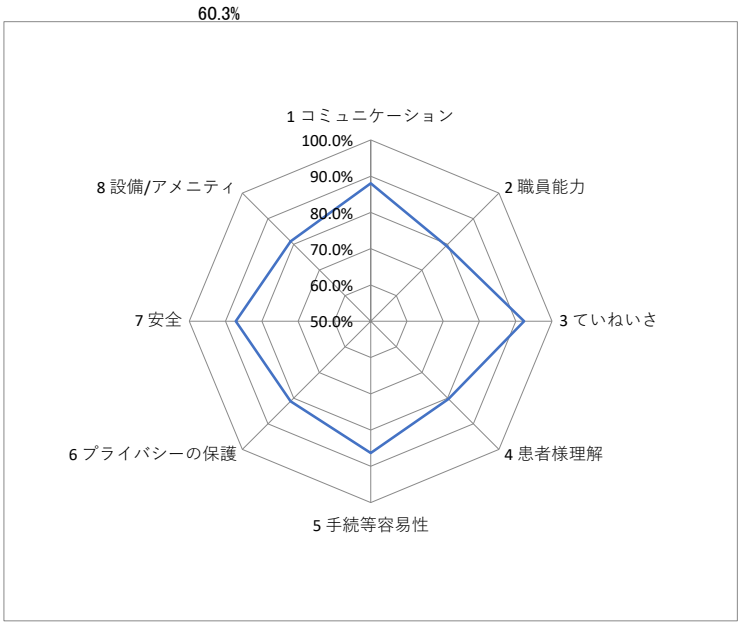
・上山病院　透析室患者様アンケート結果

回答者数＝ 117　　対象者数＝ 194

No.	領域	質問項目	選択肢		回答率	
1	コミュニケーション	当院職員は、わかりやすい言葉で説明しましたか	1. はい	103	88.0%	
			2. いいえ	4	3.4%	
			3. わからない	5	4.3%	
			無回答	5	4.3%	100.0%
2	職員能力	当院職員は、必要な技術と知識を身につけていますか	1. はい	93	79.5%	
			2. いいえ	2	1.7%	
			3. わからない	16	13.7%	
			無回答	6	5.1%	100.0%
3	ていねいさ	当院職員は、ていねいな対応をしていましたか	1. はい	108	92.3%	
			2. いいえ	2	1.7%	
			3. わからない	1	0.9%	
			無回答	6	5.1%	100.0%
4	患者様理解	当院職員は、患者の気持ちを理解しようとしましたか	1. はい	94	80.3%	
			2. いいえ	6	5.1%	
			3. わからない	12	10.3%	
			無回答	5	4.3%	100.0%
5	治療までの円滑さ	来院されてから、スムーズに透析を開始することができていますか	1. はい	101	86.3%	
			2. いいえ	9	7.7%	
			3. わからない	6	5.1%	
			無回答	1	0.9%	100.0%
6	プライバシーの保護	院内のプライバシーの保護は適切でしたか	1. はい	95	81.2%	
			2. いいえ	4	3.4%	
			3. わからない	15	12.8%	
			無回答	3	2.6%	100.0%
7	安全	院内では安全に医療サービスが行われていると感じましたか	1. はい	102	87.2%	
			2. いいえ	2	1.7%	
			3. わからない	11	9.4%	
			無回答	2	1.7%	100.0%
8	設備／アメニティ	院内の環境は快適でしたか	1. はい	95	81.2%	
			2. いいえ	6	5.1%	
			3. わからない	15	12.8%	
			無回答	1	0.9%	100.0%

回答率＝

	項目	「①はい」の人数
1	コミュニケーション	88.0%
2	職員能力	79.5%
3	ていねいさ	92.3%
4	患者様理解	80.3%
5	手続等容易性	86.3%
6	プライバシーの保護	81.2%
7	安全	87.2%
8	設備/アメニティ	81.2%



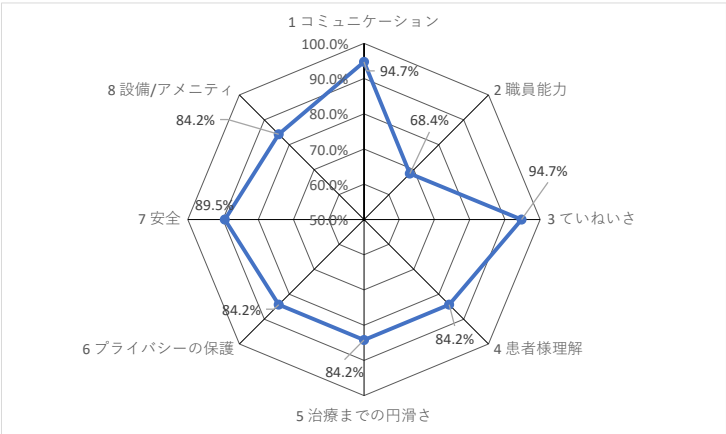
・うえやま腎クリニック　透析室患者様アンケート結果

回答者数＝　38　　対象者数＝ 59

領域	No.	質問項目	選択肢		回答率	
1	コミュニケーション	当院職員は、わかりやすい言葉で説明しましたか	1. はい	36	94.7%	
			2. いいえ	1	2.6%	
			3. わからない	0	0.0%	
			無回答	1	2.6%	100.0%
2	職員能力	当院職員は、必要な技術と知識を身につけていますか	1. はい	26	68.4%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	11	28.9%	
			無回答	1	2.6%	100.0%
3	ていねいさ	当院職員は、ていねいな対応をしていましたか	1. はい	36	94.7%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	1	2.6%	
			無回答	1	2.6%	100.0%
4	患者様理解	当院職員は、患者の気持ちを理解しようとしましたか	1. はい	32	84.2%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	5	13.2%	
			無回答	1	2.6%	100.0%
5	治療までの円滑さ	来院されてから、スムーズに透析を開始することができていますか	1. はい	32	84.2%	
			2. いいえ	1	2.6%	
			3. わからない	4	10.5%	
			無回答	1	2.6%	100.0%
6	プライバシーの保護	院内のプライバシーの保護は適切でしたか	1. はい	32	84.2%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	5	13.2%	
			無回答	1	2.6%	100.0%
7	安全	院内では安全に医療サービスが行われていると感じましたか	1. はい	34	89.5%	
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	3	7.9%	
			無回答	1	2.6%	100.0%
8	設備／アメニティ	院内の環境は快適でしたか	1. はい	32	84.2%	
			2. いいえ	2	5.3%	
			3. わからない	3	7.9%	
			無回答	1	2.6%	100.0%

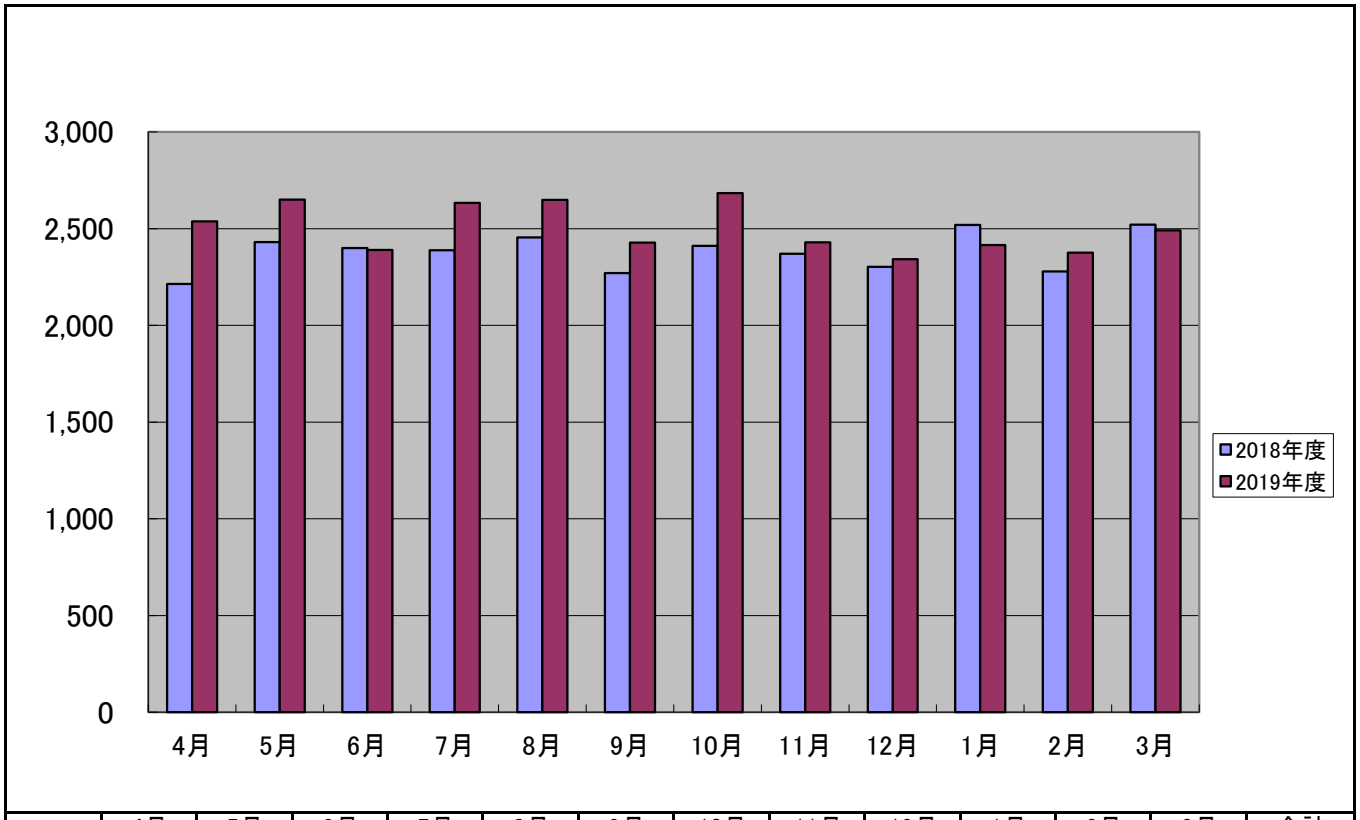
回答率＝ 64.4%

	項目	「①はい」の率
1	コミュニケーション	94.7%
2	職員能力	68.4%
3	ていねいさ	94.7%
4	患者様理解	84.2%
5	治療までの円滑さ	84.2%
6	プライバシーの保護	84.2%
7	安全	89.5%
8	設備/アメニティ	84.2%



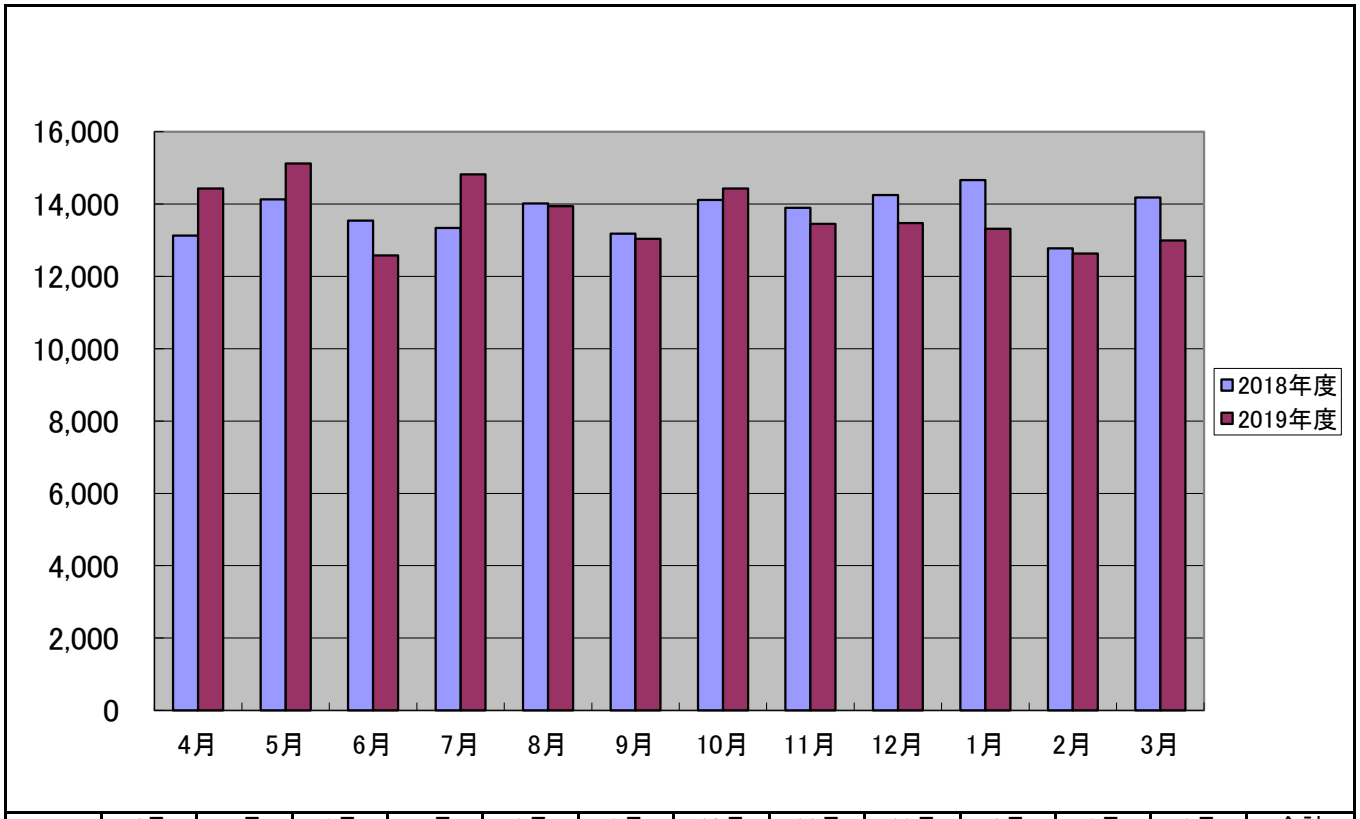
(4) 送迎データ

①送迎患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	2,214	2,430	2,400	2,388	2,455	2,270	2,411	2,370	2,303	2,519	2,279	2,521	28,560
2019年度	2,537	2,650	2,390	2,633	2,648	2,428	2,684	2,429	2,342	2,415	2,375	2,491	30,022

②送迎走行距離



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	13,127	14,125	13,539	13,342	14,015	13,178	14,112	13,898	14,249	14,659	12,775	14,184	165,203
2019年度	14,432	15,118	12,582	14,818	13,942	13,037	14,432	13,452	13,476	13,316	12,629	12,993	164,227

(5)職員データ

①職員数（2020年3月31日現在）

項目			HP	CL	光陽	本部	USK	計
所属法人	1	腎愛会	114	22	20	16	1	173
	2	ユーエスケイ企画	12	2			10	24
	計		126	24	20	16	11	197
勤務状況	1	常勤	72	7	11	12	7	109
	2	日勤	22	8	3			33
	3	短時間勤務	3	1		3		7
	4	契約職員	1					1
	5	嘱託職員	3	2	1			6
	6	非常勤	19	4	4	1	4	32
	8	休職	6	2	1			9
	計		126	24	20	16	11	197
性別	1	女性	97	22	14	7	8	148
	2	男性	29	2	6	9	3	49
	計		126	24	20	16	11	197
資格・職種	1	医師	14	1				15
	2	薬剤師	3					3
	3	診療放射線技師	3					3
	4	臨床検査技師	3					3
	5	臨床工学技士	6	2				8
	6	管理栄養士	2					2
	7	看護師	54	12	4			70
	8	准看護師	1					1
	9	理学療法士	2					2
	10	作業療法士						0
	11	社会福祉士	2		1			3
	12	介護福祉士			9			9
	13	ケアスタッフ	17	2	3			22
	14	介護支援専門員			2			2
	15	技師助手	1					1
	16	医療事務	8	3				11
	17	診療情報管理士	1					1
	18	事務		1		10	4	15
	19	クラーク	2					2
	20	営業管理・営業					7	7
	21	技術員						0
	22	運転手				5		5
	23	エステティシャン		3				3
	24	清掃員	7					7
	25	施設管理			1	1		2
	26	その他						0
	計		126	24	20	16	11	197

②就業状況

	平均		男性		女性	
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
勤続年数	7.9	8.0	9.5	9.2	7.5	7.6
平均年齢	42.3	43.1	47.0	47.3	40.9	41.7

退職率	平均		職員数		退職者数	
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
全 体	13.5%	8.1%	163	173	22	14
男 性	9.5%	0.0%	42	47	4	0
女 性	14.9%	11.1%	121	126	18	14

復職率	2018年度	2019年度
	0.00%	0.00%

※パートへの復職を含む（育休・介休などの休職後の復帰を含まず）

有給取得率	2018年度	2019年度
	71.9%	77.7%

※（2019年4月から2020年3月までの総取得日数）÷（2020年3月現在で直近に付与された日数の総計）

医療法人 腎愛会 2019（令和１）年度年報

発行月　　2020 年 11 月
発行者　　医療法人腎愛会　法人本部
印刷・製本　株式会社ユーエスケイ企画